

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2001-338100

(43)Date of publication of application : 07.12.2001

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

G06F 13/00

(21)Application number : 2000-156438

(71)Applicant : EC WATCH.COM:KK

(22)Date of filing : 26.05.2000

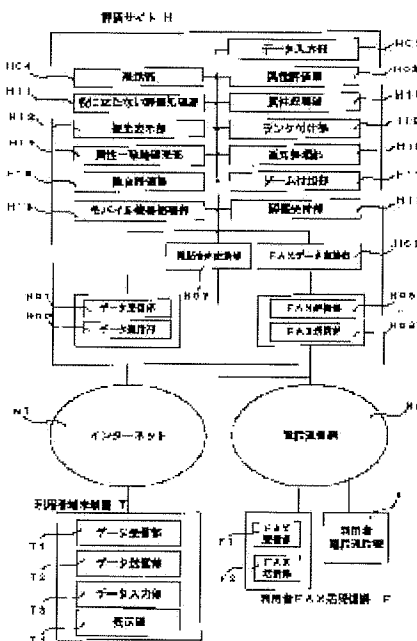
(72)Inventor : TEJIMA TOMONAGA
ONO MIDORI

(54) EVALUATING DEVICE AND EVALUATING METHOD AND RECORDING MEDIUM WITH SOFTWARE FOR EVALUATION RECORDED

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an evaluating device capable of collecting and providing evaluation data with high precision corresponding to the attribute of an evaluator or the like.

SOLUTION: Prescribed questionnaires are carried out, and highly precise attribute discrimination is carried out based on the result of the questionnaires so that evaluation data corresponding to the attribute of an evaluator or a user can be obtained. The evaluation whose quality is non-satisfactory is excluded so that the reliability of evaluation can be improved, and the obtained evaluation is notified to the object of evaluation so that the betterment will of the object of evaluation can be improved. Then, a response from the object of evaluation is received, and commendation or grading is performed so that the evaluation will of the evaluator can be improved. Moreover, a user interface is enriched so that convenience can be improved, and any dirty work or the like is retrieved and processed with a keyword so that public morals can be maintained.



【特許請求の範囲】

【請求項1】 コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置であって、
 利用者の属性を収集する属性収集部と、
 利用者が、ある評価対象に対して評価を入力する際に起動される評価受付部と、
 前記属性収集部による収集データに基づいて利用者の属性を分類し、その属性に応じた評価を受け付け、これらの評価を利用者の指示に従って表示する属性評価部とを備えたことを特徴とする評価装置。

【請求項2】 前記属性収集部が、所定のアンケートを、コンピュータネットワークを介しての、書き込み、電子メール、電話による番号指定、あるいはFAXの少なくともいずれかによって実施するアンケート部であることを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項3】 前記アンケート部により実施されるアンケートの内、利用者の固定的特性に関するアンケートはコンピュータネットワーク上でを行い、その他の詳細項目に関するアンケートは他の通信手段を用いて行うように構成されていることを特徴とする請求項2に記載の評価装置。

【請求項4】 前記アンケート部により実施されるアンケートの内、状況の変化によって変動する変動的特性に関するアンケートは、逐次実施するように構成されていることを特徴とする請求項2に記載の評価装置。

【請求項5】 前記アンケート部により実施されるアンケートが、ある評価対象の購入後、所定期間を経過した後に実施されることを特徴とする請求項2に記載の評価装置。

【請求項6】 前記アンケート部により実施されるアンケート結果を自動集計するように構成したことを特徴とする請求項2に記載の評価装置。

【請求項7】 前記アンケートの一部を、電話、FAX、電子メールの少なくとも1つによって行うことを特徴とする請求項2に記載の評価装置。

【請求項8】 前記電話によるアンケートが、番号の指定によってアンケートに回答できるように構成されていることを特徴とする請求項7に記載の評価装置。

【請求項9】 前記属性収集部が、Webマスタによる手入力により、利用者の属性を収集するものであることを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項10】 前記属性収集部が、各アンケート項目について、各属性ごとに所定の点数を割り付けし、各属性ごとの所定関数の演算値が所定値以上の場合に、そのアンケート実施者をその属性に属すると判断するものであることを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項11】 前記演算値が所定値以上の評価者のみの評価を表示することを特徴とする請求項10に記載の

評価装置。

【請求項12】 前記評価受付部が、同じ人の繰り返し評価を禁止するように構成されていることを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項13】 前記同じ人の繰り返し評価の禁止は、その繰り返し評価が所定回数以上である場合に行われることを特徴とする請求項12に記載の評価装置。

【請求項14】 前記同じ人の繰り返し評価の禁止は、所定期間行われることを特徴とする請求項12に記載の評価装置。

【請求項15】 前記同じ人の繰り返し評価の禁止は、同じ人が内容の追加・修正を行う場合を除いて行われることを特徴とする請求項12に記載の評価装置。

【請求項16】 前記同じ人が行う内容の追加・修正は、所定回数に限定されていることを特徴とする請求項15に記載の評価装置。

【請求項17】 前記評価受付部が、同一評価対象に対する一定時間間隔の評価の書き込みが所定頻度以上の場合に、その評価を掲載しないように構成されていることを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項18】 各評価対象に対する評価の表示は、それぞれの評価対象について、その評価が所定数以上集まった場合にのみ表示するように構成されていることを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項19】 前記評価受付部が、評価入力時に禁ワードが入力されたことを検出して、Webマスタへ通知するように構成されていることを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項20】 前記評価受付部が、評価入力時に禁ワードが入力されたことを検出した場合に、その入力を拒否する、Webマスタに通知する、または評価者に注意を与えるように構成されていることを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項21】 前記属性評価部が、前記属性ごとに、評価に対する評価を階層的に繰り返すことができるように構成されていることを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項22】 前記評価に対する評価の重積度合いに応じて信頼度を算出して表示するように構成したことを特徴とする請求項21に記載の評価装置。

【請求項23】 前記重積とは、役に立つという投票総数であることを特徴とする請求項22に記載の評価装置。

【請求項24】 前記評価に対する評価を階層的に繰り返し、ネスト構造化した評価列の一部をなすある評価に対する評価が重積する場合、前記ある評価の上位の評価に対しても前記ある評価と同様の信頼度を与えるように構成されていることを特徴とする請求項21に記載の評価装置。

【請求項25】 前記信頼度とは、前記役に立つとの投

票総数の段階的区分ごとに設定された称号であることを特徴とする請求項24に記載の評価装置。

【請求項26】 前記属性ごとの評価に対して、賛否を投票するように構成したことを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項27】 評価者ごとの過去の評価履歴を表示するように構成したことを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項28】 評価者ごとの過去の評価履歴の内、その評価を有効とした投票数を表示するように構成したことを特徴とする請求項27に記載の評価装置。

【請求項29】 ある評価について、賛否投票の「賛」の投票数、あるいは「否」の投票数の多い順に、その評価を優先的に表示するように構成したことを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項30】 ある評価について、評価数の上位の評価者、あるいは有効投票数の上位の評価者を表彰の態様で表示するように構成したことを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項31】 利用者がアンケートあるいは評価の書き込みを中止しようとした場合に、操作継続の依頼を行うように構成したことを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項32】 新たな評価がなされた場合に、その旨をその評価自体またはその評価者の属性に属する人を対象に報知するように構成したことを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項33】 新たに評価対象が登録された場合に、その評価対象と同一の属性に属する人に、その評価対象に対する評価を催促する通知を行うように構成したことを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項34】 評価対象の表示が、評価数の少ない順、または評価数の多い順に行われることを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項35】 評価対象の表示が、段階評価の平均値の高い順、または段階評価の平均値の低い順に行われることを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項36】 評価対象の表示が、評価数の多い順、または良い評価が多い順に表彰の態様で行われることを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項37】 評価者に対して、報奨を伴うポイントを累積的に付与すると共に、前記ポイントに応じて報奨を変えるように構成したことを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項38】 評価文に対して、Webマスタによるキーワード検索を行うように構成したことを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項39】 前記キーワード検索によって検出した評価文からその評価者をピックアップし、Webマスタが登録操作を行うことにより、中傷ユーザーの一覧表が

作成されて表示されるように構成したことを特徴とする請求項38に記載の評価装置。

【請求項40】 前記キーワード検索によって検出した評価文をピックアップし、Webマスタが登録操作を行うことにより、問題となる評価対象の一覧表が作成されて表示されるように構成したことを特徴とする請求項38に記載の評価装置。

【請求項41】 利用者の要求に従って、書き込み数、段階評価値、投票数の少なくともいずれかをビジュアル表示することができるように構成したことを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項42】 前記ビジュアル表示が、属性別に行われることを特徴とする請求項41に記載の評価装置。

【請求項43】 前記ビジュアル表示が、レーダーチャートあるいは棒グラフによる表示であることを特徴とする請求項41に記載の評価装置。

【請求項44】 前記ビジュアル表示が、所定の単位数毎に1つのイメージを設定し、その単位数に満たない部分はその1つのイメージを部分的に表示することにより、前記書き込み数または投票数を表すものであることを特徴とする請求項41に記載の評価装置。

【請求項45】 評価対象及び評価者について、その属性イメージを表示するように構成したことを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項46】 時間に対する評価の推移を表示するように構成したことを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項47】 評価の時間軸グラフに評価を重積させるように構成したことを特徴とする請求項46に記載の評価装置。

【請求項48】 属性ごとの評価を提示することができるように構成したことを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項49】 前記属性ごとの評価の提示が、所定の基準に基づいて、評価を並び替えて提示するものであることを特徴とする請求項48に記載の評価装置。

【請求項50】 前記属性ごとの評価の提示が、評価対象に対する評価の通知であることを特徴とする請求項48に記載の評価装置。

【請求項51】 ある評価対象に対してなされた評価の内、特定の属性に属する評価をグループ化して、所定の統計処理を行うことを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項52】 前記グループ化されたグループの名称を、そのグループの特性を把握することができる名称とすることを特徴とする請求項51に記載の評価装置。

【請求項53】 前記特定の属性とは、同じ評価をした者であることを特徴とする請求項51に記載の評価装置。

【請求項54】 前記特定の属性とは、複数の属性の組

み合わせであることを特徴とする請求項51に記載の評価装置。

【請求項55】 1または複数のグループごとの評価結果をまとめて表示し、あるいは所定の報知先に報知することを特徴とする請求項51に記載の評価装置。

【請求項56】 前記報知が、レポート形式により行われることを特徴とする請求項55に記載の評価装置。

【請求項57】 評価コメントを、電子メール、自動電話あるいはFAXによって、評価対象へ通知するように構成したことを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項58】 前記評価対象への通知に対して、評価対象からのサンクスメールを対応する評価者へリターンするように構成したことを特徴とする請求項57に記載の評価装置。

【請求項59】 前記評価対象への通知が、属性毎に一覧表化して行われることを特徴とする請求項57に記載の評価装置。

【請求項60】 評価対象が店である場合に、その店が新装開店されたときは、その評価値を変えるように構成したことを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項61】 前記評価値の変更が、評価が悪い場合には0にリセットし、評価が良い場合には、更にプラス方向に所定値だけ加算するように構成されていることを特徴とする請求項60に記載の評価装置。

【請求項62】 前記評価値の変更が、評価対象自体にその評価値を設定させることにより行われることを特徴とする請求項60に記載の評価装置。

【請求項63】 前記評価値の変更が、所定の基準に基づいて、評価値の加重平均の重みを軽くすることにより行われることを特徴とする請求項60に記載の評価装置。

【請求項64】 評価対象の評判が悪い場合に、その改善を要求するメールを送るように構成したことを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項65】 前記改善を要求するメールは、時間の経過と共にそのメール頻度を少なくするように設定されていることを特徴とする請求項64に記載の評価装置。

【請求項66】 評価対象の最初の表示順序は、その評価対象が負担した広告料金に応じて優先的に表示されるように構成したことを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項67】 前記広告料金が所定額以上の評価対象に対して、所定のマークを付与することを特徴とする請求項66に記載の評価装置。

【請求項68】 コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置であって、

各評価に関して、その評価が利用者にとって役に立つか否かを尋ね、役に立たないとの回答が所定レベル以上で

あることにより役に立たないとされた場合に、その評価を検出し、その後、Webマスタに通知する、又は、その評価を自動的に削除する処理を行う役に立たない評価処理部を備えたことを特徴とする評価装置。

【請求項69】 前記所定レベルが、予め設定された所定値、又は所定割合であることを特徴とする請求項68に記載の評価装置。

【請求項70】 コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置であって、その評価についての1つもしくは複数の優先表示条件のうち、利用者の選択指示に従って、特定の評価を優先的に表示する優先表示部を備えたことを特徴とする評価装置。

【請求項71】 その評価が役に立つ／立たないの投票数をカウントする手段と、書き込み数をカウントする手段を備え、前記優先表示条件が、その評価が役に立つとの投票数が所定レベル以上であること、その評価が役に立たないとの投票数が所定レベル以上であること、その評価に対する書き込み数が所定レベル以上であること、あるいはその評価に対する書き込み数が所定レベル以下であることのいずれかであることを特徴とする請求項70に記載の評価装置。

【請求項72】 前記優先的に表示するとは、画面上の見やすい上部に表示する態様、又は同時に閲覧することができると同一画面上に表示する態様のいずれかであることを特徴とする請求項70に記載の評価装置。

【請求項73】 コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置であって、ランク付けに関する所定の場合分けロジックに従って、評価者としてのレベルをランク付けするランク付け部を備えたことを特徴とする評価装置。

【請求項74】 前記ランク付けが、評価者の所定の経験に基づいてなされることを特徴とする請求項73に記載の評価装置。

【請求項75】 前記評価者の経験が、ショッピング経験であることを特徴とする請求項74に記載の評価装置。

【請求項76】 前記評価者の経験が、評価者の所持品であることを特徴とする請求項74に記載の評価装置。

【請求項77】 前記評価者の経験が、評価者の評価経験であることを特徴とする請求項74に記載の評価装置。

【請求項78】 前記ランク付けに応じて、所定のイラストを付与することを特徴とする請求項73に記載の評価装置。

【請求項79】 前記ランク付けに応じて、ランクの高い評価から優先的に見やすい位置に表示することを特徴とする請求項73に記載の評価装置。

【請求項80】 前記ランクが高くなるに従って得票点数を上げることを特徴とする請求項73に記載の評価装置。

【請求項81】 コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置であって、

利用者の属性を収集する属性収集部と、その評価を読む複数の利用者について、前記属性収集部によって得た互いの属性が一致するか否かを判断し、同じ属性の利用者について所定の処理を行う属性一致時処理部を備えたことを特徴とする評価装置。

【請求項82】 前記所定の処理が、それぞれの関連情報を同じ属性の利用者に通知することであることを特徴とする請求項81に記載の評価装置。

【請求項83】 前記所定の処理が、それぞれに通知の希望がある場合に、それぞれの関連情報を同じ属性の利用者に通知することであることを特徴とする請求項81に記載の評価装置。

【請求項84】 前記所定の処理が、それぞれのEメールアドレスを同じ属性の利用者に通知することであることを特徴とする請求項81に記載の評価装置。

【請求項85】 それぞれの関連情報を通知された同じ属性の利用者の双方が、相手方との接触を希望する場合に、互いの連絡先を提示することを特徴とする請求項82、請求項83又は請求項84に記載の評価装置。

【請求項86】 前記所定の処理が、属性の一致する評価者の評価を、優先的に見やすい位置に表示することであることを特徴とする請求項81に記載の評価装置。

【請求項87】 前記所定の処理が、属性の一致する評価のみを表示することであることを特徴とする請求項81に記載の評価装置。

【請求項88】 互いの属性が一致するか否かの判断が、利用者の選択した1又は複数の属性についてなされることを特徴とする請求項81に記載の評価装置。

【請求項89】 コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置であって、

評価の入力がなされた評価対象にその評価を通知し、必要に応じてその評価に対するコメントを受け付けた後、所定の処理を行う通知処理部を備えたことを特徴とする評価装置。

【請求項90】 前記所定の処理が、評価対象からのその評価に対するコメントを受け付けた場合に、評価ごとに設けられた対話掲示板へそのコメントを表示することであることを特徴とする請求項89に記載の評価装置。

【請求項91】 前記対話掲示板に表示された各コメントについて、役に立つ／立たないの投票を受け付け、その投票結果を表示するように構成したことを特徴とする請求項90に記載の評価装置。

【請求項92】 前記対話掲示板において、当該評価者と評価対象の対話についての質問を受け付け、その質問に対する回答を受け付けて、別のQ & A掲示板で表示するように構成したことを特徴とする請求項90に記載の評価装置。

10 【請求項93】 前記Q & A掲示板に表示された各コメントに対し、役に立つ／立たないの投票を受け付けるように構成したことを特徴とする請求項92に記載の評価装置。

【請求項94】 前記Q & A掲示板にコメントを書き込んでもらった際に、当該評価対象についての評価の依頼を行うことを特徴とする請求項92に記載の評価装置。

20 【請求項95】 前記評価の依頼を行う前に、当該評価対象に関する経験の有無を問い、経験がある場合に、評価の書き込みを許可することを特徴とする請求項94に記載の評価装置。

【請求項96】 前記所定の処理が、評価対象からのその評価に対するコメントを受け付けた場合に、その評価者にリターンすることであることを請求項89に記載の評価装置。

【請求項97】 コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置であって、

30 各評価対象に関する各評価項目ごとに所定の重み付けおよび関数の少なくとも一方を設定して、各評価対象について総合評価値を算出する総合評価部を備えたことを特徴とする評価装置。

【請求項98】 前記重み付けが、各評価項目ごとに設定された0～1.0の数値であり、その総和が1.0であることを特徴とする請求項97に記載の評価装置。

【請求項99】 前記評価項目ごとの段階評価値の各段階ごとに、前記数値がそれぞれ所定値に設定されていることを特徴とする請求項98に記載の評価装置。

40 【請求項100】 前記重み付けが、各評価項目の所定のグループ毎に設定された0～1.0の数値であり、各グループ毎の総和が1.0であり、同一グループ内の各評価項目ごとに設定された0～1.0の数値の総和が1.0であることを特徴とする請求項97に記載の評価装置。

【請求項101】 前記関数及び重み付け数値は、それぞれ表示して公開され、それらに対する修正値あるいは修正式を書き込む掲示板において、前記修正値あるいは修正式についての賛否を問い、その投票総数が所定値を超えた場合にWebマスタに通知するように構成したことを特徴とする請求項97に記載の評価装置。

【請求項102】 前記関数及び重み付け数値の設定バリエーションごとに、評価ジャンルを設けたことを特徴とする請求項97に記載の評価装置。

【請求項103】 前記関数及び重み付け数値は、利用者ごとに設定でき、所望の評価対象を検索できるように構成されていることを特徴とする請求項97に記載の評価装置。

【請求項104】 コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置であって、
利用者の属性を収集する属性収集部と、
評価書き込みまたは前記属性収集部の属性を収集するためのアンケート記入に対してゲームを提供するゲーム付加部を備えたことを特徴とする評価装置。

【請求項105】 前記ゲームの種類が、評価コメント数の多寡に応じて変更可能に設定されていることを特徴とする請求項104に記載の評価装置。

【請求項106】 前記ゲームが、評価コメント数の多寡に応じて、その当たりの確率を変更することができるように設定されていることを特徴とする請求項104に記載の評価装置。

【請求項107】 モバイル通信機器との間で、評価対象を特定してその評価情報のアップロード機能あるいはダウンロード機能の少なくとも一方を果たすモバイル機器処理部を備えたことを特徴とする請求項1に記載の評価装置。

【請求項108】 前記評価対象の特定は、利用者が所定の評価対象リストの中からモバイル通信機器を用いて選定することにより行うことを特徴とする請求項107に記載の評価装置。

【請求項109】 前記評価対象の特定は、利用者が評価対象のジャンルリストの中から選択したジャンルに基づいて提示された評価対象リストの中からモバイル通信機器を用いて選定することにより行うことを特徴とする請求項107に記載の評価装置。

【請求項110】 前記ジャンルリストは、場所リストを含むことを特徴とする請求項109に記載の評価装置。

【請求項111】 前記ジャンルリストは、50音順索引リストであることを特徴とする請求項109に記載の評価装置。

【請求項112】 前記評価情報が、評価が記載された文、段階評価値、評価数の少なくともいずれかであることを特徴とする請求項107に記載の評価装置。

【請求項113】 前記評価情報が、評価者の属性ごとに集計された評価情報であることを特徴とする請求項107に記載の評価装置。

【請求項114】 前記評価対象が、店であることを特徴とする請求項107に記載の評価装置。

【請求項115】 前記評価対象が、取り扱われている商品であることを特徴とする請求項107に記載の評価装置。

【請求項116】 前記評価対象の特定が、キーワード検索によって行えるように構成されていることを特徴とする請求項107に記載の評価装置。

【請求項117】 前記評価情報が、音声及び映像の少なくとも一方で送受信されるように構成されていることを特徴とする請求項107に記載の評価装置。

【請求項118】 前記評価情報を入力した利用者に対して、キャッシュバックすることを特徴とする請求項107に記載の評価装置。

【請求項119】 前記評価情報を入力した利用者に対して、次回利用時に割引サービスすることを特徴とする請求項107に記載の評価装置。

【請求項120】 コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置であって、

利用者の属性を収集する属性収集部と、
利用者が、ある評価対象に対して評価を人力する際に起動される評価受付部と、
前記属性収集部による収集データに基づいて利用者の属性を分類し、その属性に応じた評価を受け付け、これらの評価を利用者の指示に従って表示する属性評価部と、
各評価に関して、その評価が利用者にとって役に立つか否かを尋ね、役に立たないとの回答が所定レベル以上であることにより役に立たないとされた場合に、その評価を検出し、その後、Webマスタに通知する、またはその評価を自動的に削除する処理を行う役に立たない評価処理部と、
その評価についての1つもしくは複数の優先表示条件のうち、利用者の選択指示に従って、特定の評価を優先的に表示する優先表示部と、
ランク付けに関する所定の場合分けロジックに従って、評価者としてのレベルをランク付けするランク付け部と、
その評価を読む複数の利用者について、前記属性収集部によって得た互いの属性が一致するか否かを判断し、同じ属性の利用者について所定の処理を行う属性一致時処理部と、
評価の入力がなされた評価対象にその評価を通知し、必要に応じてその評価に対するコメントを受け付けた後、所定の処理を行う通知処理部と、
各評価対象に関する各評価項目ごとに所定の重み付けおよび関数の少なくとも一方を設定して、各評価対象について総合評価値を算出する総合評価部と、
評価書き込みまたは前記属性収集部の属性を収集するためのアンケート記入に対してゲームを提供するゲーム付加部と、

モバイル通信機器との間で、評価対象を特定してその評価情報のアップロード機能あるいはダウンロード機能の少なくとも一方を果たすモバイル機器処理部とを備えたことを特徴とする評価装置。

【請求項121】 コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価方法であって、

利用者の属性を収集する属性収集ステップと、

利用者が、ある評価対象に対して評価を入力する際に起動される評価受付ステップと、

前記属性収集ステップによる収集データに基づいて利用者の属性を分類し、その属性に応じた評価を受け付け、これらの評価を利用者の指示に従って表示する属性評価ステップとを有することを特徴とする評価方法。

【請求項122】 コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価方法であって、

各評価に関して、その評価が利用者にとって役に立つか否かを尋ね、役に立たないとの回答が所定レベル以上であることにより役に立たないとされた場合に、その評価を検出し、その後、Webマスタに通知する、またはその評価を自動的に削除する処理を行う役に立たない評価処理ステップを有することを特徴とする評価方法。

【請求項123】 コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価方法であって、

その評価についての1つもしくは複数の優先表示条件のうち、利用者の選択指示に従って、特定の評価を優先的に表示する優先表示ステップを有することを特徴とする評価方法。

【請求項124】 コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価方法であって、

ランク付けに関する所定の場合分けロジックに従って、評価者としてのレベルをランク付けするランク付けステップを有することを特徴とする評価方法。

【請求項125】 コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価方法であって、

利用者の属性を収集する属性収集ステップと、

その評価を読む複数の利用者について、前記属性収集ステップによって得た互いの属性が一致するか否かを判断し、同じ属性の利用者について所定の処理を行う属性一致時処理ステップを有することを特徴とする評価方法。

【請求項126】 コンピュータネットワークを通じて

1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価方法であって、

評価の入力がなされた評価対象にその評価を通知し、必要に応じてその評価に対するコメントを受け付けた後、所定の処理を行う通知処理ステップを有することを特徴とする評価方法。

【請求項127】 コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価方法であって、

各評価対象に関する各評価項目ごとに所定の重み付けおよび関数の少なくとも一方を設定して、各評価対象について総合評価値を算出する総合評価ステップを有することを特徴とする評価方法。

【請求項128】 コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価方法であって、

利用者の属性を収集する属性収集ステップと、評価書き込みまたは前記属性収集ステップにおける属性を収集するためのアンケート記入に対してゲームを提供するゲーム付加ステップを有することを特徴とする評価方法。

【請求項129】 モバイル通信機器との間で、評価対象を特定してその評価情報のアップロード機能あるいはダウンロード機能の少なくとも一方を果たすモバイル機器処理ステップを有することを特徴とする請求項121に記載の評価方法。

【請求項130】 コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価方法であって、

利用者の属性を収集する属性収集ステップと、利用者が、ある評価対象に対して評価を入力する際に起動される評価受付ステップと、

前記属性収集ステップによる収集データに基づいて利用者の属性を分類し、その属性に応じた評価を受け付け、これらの評価を利用者の指示に従って表示する属性評価ステップと、

各評価に関して、その評価が利用者にとって役に立つか否かを尋ね、役に立たないとの回答が所定レベル以上であることにより役に立たないとされた場合に、その評価を検出し、その後、Webマスタに通知する、またはその評価を自動的に削除する処理を行う役に立たない評価処理ステップと、

その評価についての1つもしくは複数の優先表示条件のうち、利用者の選択指示に従って、特定の評価を優先的に表示する優先表示ステップと、

ランク付けに関する所定の場合分けロジックに従って、

評価者としてのレベルをランク付けするランク付けステップと、
その評価を読む複数の利用者について、前記属性収集ステップによって得た互いの属性が一致するか否かを判断し、同じ属性の利用者について所定の処理を行う属性一致時処理ステップと、

評価の入力がなされた評価対象にその評価を通知し、必要に応じてその評価に対するコメントを受け付けした後、所定の処理を行う通知処理ステップと、

各評価対象に関する各評価項目ごとに所定の重み付けおよび関数の少なくとも一方を設定して、各評価対象について総合評価値を算出する総合評価ステップと、
評価書き込みまたは前記属性収集ステップにおける属性を収集するためのアンケート記入に対してゲームを提供するゲーム付加部と、

モバイル通信機器との間で、評価対象を特定してその評価情報のアップロード機能あるいはダウンロード機能の少なくとも一方を果たすモバイル機器処理ステップとを有することを特徴とする評価方法。

【請求項131】 コンピュータを用いて、1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価用ソフトウェアを記録した記録媒体であって、そのソフトウェアは、前記コンピュータに、利用者の属性を収集させ、利用者がある評価対象に対して評価を入力しようとする際に、その評価を受け付け、収集させた属性に関するデータに基づいて利用者の属性を分類させ、その属性に応じた評価を受け付けさせ、これらの評価を利用者の指示に従って表示させることを特徴とする評価用ソフトウェアを記録した記録媒体。

【請求項132】 コンピュータを用いて、1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価用ソフトウェアを記録した記録媒体であって、そのソフトウェアは、前記コンピュータに、前記各評価に関して、その評価が利用者にとって役に立つか否かを尋ねさせ、役に立たないとの回答が所定レベル以上であることにより役に立たないとされた場合に、その評価を検出させ、その後、Webマスタに通知させ、またはその評価を自動的に削除させることを特徴とする評価用ソフトウェアを記録した記録媒体。

【請求項133】 コンピュータを用いて、1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価用ソフトウェアを記録した記録媒体であって、そのソフトウェアは、前記コンピュータに、その評価についての1つもしくは複数の優先表示条件のうち、利用者の選択指示に従って、特定の評価を優先的に表示させることを特徴とする評価用ソフトウェアを記

録した記録媒体。

【請求項134】 コンピュータを用いて、1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価用ソフトウェアを記録した記録媒体であって、そのソフトウェアは、前記コンピュータに、ランク付けに関する所定の場合分けロジックに従って、評価者としてのレベルをランク付けさせることを特徴とする評価用ソフトウェアを記録した記録媒体。

【請求項135】 コンピュータを用いて、1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価用ソフトウェアを記録した記録媒体であって、そのソフトウェアは、前記コンピュータに、利用者の属性を収集させ、その評価を読む複数の利用者について、互いの属性が一致するか否かを判断させ、同じ属性の利用者について所定の処理を行わせることを特徴とする評価用ソフトウェアを記録した記録媒体。

【請求項136】 コンピュータを用いて、1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価用ソフトウェアを記録した記録媒体であって、そのソフトウェアは、前記コンピュータに、評価の入力がなされた評価対象にその評価を通知させ、必要に応じてその評価に対するコメントを受け付けさせた後、所定の処理を行わせることを特徴とする評価用ソフトウェアを記録した記録媒体。

【請求項137】 コンピュータを用いて、1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価用ソフトウェアを記録した記録媒体であって、そのソフトウェアは、前記コンピュータに、各評価対象に関する各評価項目ごとに所定の重み付けおよび関数の少なくとも一方を設定させ、各評価対象について総合評価値を算出させることを特徴とする評価用ソフトウェアを記録した記録媒体。

【請求項138】 コンピュータを用いて、1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価用ソフトウェアを記録した記録媒体であって、そのソフトウェアは、前記コンピュータに、利用者の属性を収集させ、評価書き込みまたは属性を収集させるためのアンケート記入に対してゲームを提供させることを特徴とする評価用ソフトウェアを記録した記録媒体。

【請求項139】 モバイル通信機器との間で、評価対象を特定してその評価情報のアップロード機能あるいはダウンロード機能の少なくとも一方を果たさせることを特徴とする請求項131に記載の評価用ソフトウェアを

記録した記録媒体。

【請求項140】 コンピュータを用いて、1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価用ソフトウェアを記録した記録媒体であって、そのソフトウェアは、前記コンピュータに、利用者の属性を収集させ、利用者がある評価対象に対して評価を入力しようとする際に、その評価を受付けさせ、収集させた属性に関するデータに基づいて利用者の属性を分類させ、その属性に応じた評価を受け付けさせ、これらの評価を利用者の指示に従って表示させ、各評価に関して、その評価が利用者にとって役に立つか否かを尋ねさせ、役に立たないとの回答が所定レベル以上であることにより役に立たないとされた場合に、その評価を検出させ、その後、Webマスタに通知させ、またはその評価を自動的に削除させ、その評価についての1つもしくは複数の優先表示条件のうち、利用者の選択指示に従って、特定の評価を優先的に表示させ、ランク付けに関する所定の場合分けロジックに従って、評価者としてのレベルをランク付けさせ、その評価を読む複数の利用者について、互いの属性が一致するか否かを判断させ、同じ属性の利用者について所定の処理を行わせ、評価の入力がなされた評価対象にその評価を通知させ、必要に応じてその評価に対するコメントを受け付けさせた後、所定の処理を行わせ、各評価対象に関する各評価項目ごとに所定の重み付けおよび関数の少なくとも一方を設定させ、各評価対象について総合評価値を算出させ、評価書き込みまたは属性を収集させるためのアンケート記入に対してゲームを提供させ、モバイル通信機器との間で、評価対象を特定してその評価情報のアップロード機能あるいはダウンロード機能の少なくとも一方を果たさせることを特徴とする評価用ソフトウェアを記録した記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、インターネットサイトの仮想店舗、観光地、各地住環境、商品、レストラン等の種々の評価対象についてのインターネットを用いた評価の技術の改良に関するもので、特に、評価を行った者、評価自体、評価対象の利用者等の属性に応じて高精度の評価データを収集し、提供することができるように改良を施した評価装置及び評価方法並びに評価用ソフトウェアを記録した記録媒体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 人々は、複数の店、商品、株（会社）、音楽、仕組等の中から選択して利用するに当たり、費用

対効果のもっともよいものを選択したいと願う。その選択の重要な判断材料となるのが、世間の一般的評価である。そこで、近年、これらの評価対象について、インターネットを活用して、容易に評価を収集することができる「商品評価サイト：<http://www.epinions.com/>」等が出現している。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 ところが、一つの評価対象に対して、良いか悪いかを全員で評価するのは論理的に無理がある。例えば、日本酒の嫌いな人に、この日本酒がどのレベルにあるかを評価してもらうのは困難であり、適切な評価を得ることはできない。また、あるRPG（登録商標）のゲームを初めてプレイして評価した人と、多くのRPGをプレイして評価した人では、その評価結果はまったく異なるものとなるであろうし、服装の評価についても、その採点基準を見た目だけにおく人と、見た目と機能との複合要素におく人により、また性別によりまったく異なるものとなる。さらに、商品の購入動機にしても、“誰々のために買った”とか、“季節にマッチしないが安いので買った”といった、購入者の購入状況（5W1H）に応じて、その評価は著しく異なるものとなる。

【0004】 このように、ある評価対象に対する評価は、評価する人（以下、評価者という）の性別、年齢等のいわゆる属性によって異なるものとなるが、従来の商品評価サイトは、評価者の属性の違いを考慮したものではないため、十分な商品評価のリコメンドができなかった。

【0005】 本発明は、上記のような従来技術の問題点を解決するために提案されたものであり、その目的は、評価を行った者、評価自体、評価対象の利用者等の属性に応じた高精度の評価データを収集し、提供することができる評価装置及び評価方法並びに評価用ソフトウェアを記録した記録媒体を提供することにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】 上記の目的を達成するため、請求項1に記載の発明は、コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置であって、利用者の属性を収集する属性収集部と、利用者が、ある評価対象に対して評価を入力する際に起動される評価受付部と、前記属性収集部による収集データに基づいて利用者の属性を分類し、その属性に応じた評価を受け付け、これらの評価を利用者の指示に従って表示する属性評価部とを備えたことを特徴とするものである。

【0007】 請求項121に記載の発明は、請求項1に記載の発明を方法の観点から捉えたものであって、コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された

評価を利用者に公開する評価方法であって、利用者の属性を収集する属性収集ステップと、利用者が、ある評価対象に対して評価を入力する際に起動される評価受付ステップと、前記属性収集ステップによる収集データに基づいて利用者の属性を分類し、その属性に応じた評価を受け付け、これらの評価を利用者の指示に従って表示する属性評価ステップとを有することを特徴とするものである。

【0008】請求項131に記載の発明は、請求項1または請求項121に記載の発明を実行するためのソフトウェアを記録した記録媒体という観点から捉えたものであって、コンピュータを用いて、1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価用ソフトウェアを記録した記録媒体であって、そのソフトウェアは、前記コンピュータに、利用者の属性を収集させ、利用者がある評価対象に対して評価を入力しようとする際に、その評価を受けさせ、収集させた属性に関するデータに基づいて利用者の属性を分類させ、その属性に応じた評価を受け付けさせ、これらの評価を利用者の指示に従って表示させることを特徴とするものである。

【0009】上記のような構成を有する請求項1、請求項121あるいは請求項131に記載の発明によれば、利用者の属性を正確に把握するために、属性収集部によって利用者の属性を収集し、このデータに基づいて利用者の属性を分類し、その属性に応じた評価を受け付け、これらの評価を利用者の指示に従って表示することにより、正確な評価を得ることができる。

【0010】請求項2に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、前記属性収集部が、所定のアンケートを、コンピュータネットワークを介しての、書き込み、電子メール、電話による番号指定、あるいはFAXの少なくともいずれかによって実施するアンケート部であることを特徴とするものである。上記のような構成を有する請求項2に記載の発明によれば、コンピュータネットワークを介しての、書き込み、電子メール、電話による番号指定、あるいはFAXを用いて、所定のアンケートを適宜実施することにより、利用者の属性の判断精度をあげることができる。

【0011】請求項3に記載の発明は、請求項2に記載の評価装置において、前記アンケート部により実施されるアンケートの内、利用者の固定的特性に関するアンケートはコンピュータネットワーク上でを行い、その他の詳細項目に関するアンケートは他の通信手段を用いて行うように構成されていることを特徴とするものである。上記のような構成を有する請求項3に記載の発明によれば、変わらない個人の固定的特性を、アンケートと行うたびに何度も書く手間を省くことができる。

【0012】請求項4に記載の発明は、請求項2に記載の評価装置において、前記アンケート部により実施され

るアンケートの内、状況の変化によって変動する変動的特性に関するアンケートは、逐次実施するように構成されていることを特徴とするものである。上記のような構成を有する請求項4に記載の発明によれば、季節や日時が変わると変化する個人の属性ごとの評価が可能となる。

【0013】請求項5に記載の発明は、請求項2に記載の評価装置において、前記アンケート部により実施されるアンケートが、ある評価対象の購入後、所定期間を経過した後に実施されることを特徴とするものである。上記のような構成を有する請求項5に記載の発明によれば、商品が利用者の手元に届いてからの商品の使用情報が得られる。

【0014】請求項6に記載の発明は、請求項2に記載の評価装置において、前記アンケート部により実施されるアンケート結果を自動集計するように構成したことを特徴とするものである。上記のような構成を有する請求項6に記載の発明によれば、アンケート結果を自動集計することができるので、サイト管理者の工数の低減が可能となる。

【0015】請求項7に記載の発明は、請求項2に記載の評価装置において、前記アンケートの一部を、電話、FAX、電子メールの少なくとも1つによって行うことを特徴とするものである。上記のような構成を有する請求項7に記載の発明によれば、どの家庭にもある電話、FAX、電子メールの少なくとも1つを用いてアンケートを実施することができ、電話を用いた場合には、回答が「はい」「いいえ」の音声でなされるので、その認識が容易になる。また、FAXを用いた場合には、電話と比べて、アンケート記入者がよく考えて記入することができる。さらに、電子メールを用いた場合には、電話料金が課金されない状態で、暇な時にゆっくりとアンケートに答えることができる。

【0016】請求項8に記載の発明は、請求項7に記載の評価装置において、前記電話によるアンケートが、番号の指定によってアンケートに回答できるように構成されていることを特徴とするものである。上記のような構成を有する請求項8に記載の発明によれば、アンケートに対する回答が番号の指定によってなされるので、確実に答えが分かる。

【0017】請求項9に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、前記属性収集部が、Webマスタによる手入力により利用者の属性を収集するものであることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項9に記載の発明によれば、電話で受け付けて、その結果をWebマスタが手入力でサーバーに入力するため、利用者がアンケートに記入する必要がない。

【0018】請求項10に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、前記属性収集部が、各アンケート項目について、各属性ごとに所定の点数を割り付け

10

20

30

40

50

し、各属性ごとの所定関数の演算値が所定値以上の場合に、そのアンケート実施者をその属性に属すると判断するものであることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項10に記載の発明によれば、アンケート実施者の属性を～系等に分類することが容易になる。

【0019】請求項11に記載の発明は、請求項10に記載の評価装置において、前記演算値が所定値以上の評価者のみの評価を表示することを特徴とするものである。上記のような構成を有する請求項11に記載の発明によれば、利用者が自分と属性の合致する人を抽出することが容易になり、その特定属性の人の評価を見ることが容易になる。

【0020】請求項12に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、前記評価受付部が、同じ人の繰り返し評価を禁止するように構成されていることを特徴とするものである。上記のような構成を有する請求項12に記載の発明によれば、評価の一般化を図ることができ、単なるポイント稼ぎの評価者やいわゆる“さくら”を排除することができる。

【0021】請求項13に記載の発明は、請求項12に記載の評価装置において、前記同じ人の繰り返し評価の禁止は、その繰り返し評価が所定回数以上である場合に行われることを特徴とするものである。上記のような構成を有する請求項13に記載の発明によれば、通常2～3回は行われる評価情報についての追加書き込みを、誤って排除することを防止できる。

【0022】請求項14に記載の発明は、請求項12に記載の評価装置において、前記同じ人の繰り返し評価の禁止は、所定期間行われることを特徴とするものである。上記のような構成を有する請求項14に記載の発明によれば、同一人による繰り返し評価の監視を、長期間にわたって行うことのリスクを回避することができる。

【0023】請求項15に記載の発明は、請求項12に記載の評価装置において、前記同じ人の繰り返し評価の禁止は、同じ人が内容の追加・修正を行う場合を除いて行われることを特徴とするものである。上記のような構成を有する請求項15に記載の発明によれば、善意の評価者がその評価内容の追加・修正を行う行為を、誤って排除することを防止することができる。

【0024】請求項16に記載の発明は、請求項15に記載の評価装置において、前記同じ人が行う内容の追加・修正は、所定回数に限定されていることを特徴とするものである。上記のような構成を有する請求項16に記載の発明によれば、評価内容の追加・修正を無制限に認めることにより、その後の処理が煩雑となるのを防止することができる。

【0025】請求項17に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、前記評価受付部が、同一評価対象に対する一定時間間隔の評価の書き込みが所定頻度以上の場合に、その評価を掲載しないように構成されてい

ることを特徴とするものである。上記のような構成を有する請求項17に記載の発明によれば、例えば、ある店が客を呼び込むために実際に異なるにせ情報を異なる電話やサイト等から流す場合、どうしても一定間隔ごとの評価の入力をしがちであることから、このような不正な評価の入力を防止することができる。

【0026】請求項18に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、各評価対象に対する評価の表示は、それぞれの評価対象について、その評価が所定数以上集まった場合にのみ表示するように構成されていることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項18に記載の発明によれば、初期の頃のごく少数の評価によって、事実と異なる評価となることを防止することができる。また、評価対象自体（例えば、店長）による情報操作を防止することができる。

【0027】請求項19に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、前記評価受付部が、評価入力時に禁止ワードが入力されたことを検出して、Webマスタへ通知するように構成されていることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項19に記載の発明によれば、禁止ワードを見付けやすくなり、迅速な対応が可能となる。

【0028】請求項20に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、前記評価受付部が、評価入力時に禁止ワードが入力されたことを検出した場合に、その入力を拒否する、Webマスタに通知する、または評価者に注意を与えるように構成されていることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項20に記載の発明によれば、中傷ユーザーの排除が容易に行える。

【0029】請求項21に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、前記属性評価部が、前記属性ごとに、評価に対する評価を階層的に繰り返すことができるように構成されていることを特徴とするものである。上記のような構成を有する請求項21に記載の発明によれば、属性の異なる同士の評価に対して評価を重ねても、実用面等の正しい評価ができないという問題点を解決することができる。例えば、評価対象が「若い女性用の服」である場合に、実際には同じ属性（20代の女性）の人たちしか着用しないのに、年齢が大幅に違う女性や子供の評価を採用しても、実用面等の正しい評価ができないからである。

【0030】請求項22に記載の発明は、請求項21に記載の評価装置において、前記評価に対する評価の重積度合いに応じて信頼度を算出して表示するように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項22に記載の発明によれば、単純にその評価に対する評価数で信頼度を算出する場合、評価数が多い方が評価が正しいとすることができる。

【0031】請求項23に記載の発明は、請求項22に記載の評価装置において、前記重積とは、役に立つとい

10

20

30

40

50

う投票総数であることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項23に記載の発明によれば、役に立つという評価を多く得た場合にその評価が正しいとすることにより、その評価の信頼度がより明確にわかるようになる。

【0032】請求項24に記載の発明は、請求項21に記載の評価装置において、前記評価に対する評価を階層的に繰り返し、ネスト構造化した評価列の一部をなすある評価に対する評価が重複する場合、前記ある評価の上位の評価に対しても前記ある評価と同様の信頼度を与えるように構成されていることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項24に記載の発明によれば、同じ種類の評価の複数性に基いて、属性ごとの評価の信頼度をさらに向上させることができる。

【0033】請求項25に記載の発明は、請求項24に記載の評価装置において、前記信頼度とは、前記役に立つとの投票総数の段階的区分ごとに設定された称号であることを特徴とするものである。上記のような構成を有する請求項25に記載の発明によれば、信頼度を称号で表すことにより、評価の権威が称号を一読することでわ

かるようになる。

【0034】請求項26に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、前記属性ごとの評価に対して、賛否を投票するように構成したことを特徴とするものである。上記のような構成を有する請求項26に記載の発明によれば、評価の信頼性を向上させることができる。

【0035】請求項27に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、評価者ごとの過去の評価履歴を表示するように構成したことを特徴とするものである。上記のような構成を有する請求項27に記載の発明によれば、評価者の評価意欲を向上させることができる。

【0036】請求項28に記載の発明は、請求項27に記載の評価装置において、評価者ごとの過去の評価履歴の内、その評価を有効とした投票数を表示するように構成したことを特徴とするものである。上記のような構成を有する請求項28に記載の発明によれば、評価者の評価意欲をさらに向上させることができる。

【0037】請求項29に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、ある評価について、賛否投票の「賛」の投票数、あるいは「否」の投票数の多い順に、その評価を優先的に表示するように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項29に記載の発明によれば、評価者の評価意欲を向上させることができる。

【0038】請求項30に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、ある評価について、評価数の上位の評価者、あるいは有効投票数の上位の評価者を表彰の態様で表示するように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項30に記載の発明によれば、評価者の評価意欲を向上させることができる。

【0039】請求項31に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、利用者がアンケートあるいは評価の書き込みを中止しようとした場合に、操作継続の依頼を行うように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項31に記載の発明によれば、アンケート中や評価中を書くのがいやになったユーザーの書き込み中止行為を思い留まらせて、できるだけ多くの人にアンケートしてもらうことができる。

【0040】請求項32に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、新たな評価がなされた場合に、その旨をその評価自体またはその評価者の属性に属する人を対象に報知するように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項32に記載の発明によれば、再度の評価のきっかけを作ることができる。

【0041】請求項33に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、新たに評価対象が登録された場合に、その評価対象と同一の属性に属する人に、その評価対象に対する評価を催促する通知を行うように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項33に記載の発明によれば、評価量の偏りをなくすことができると共に、属性の異なる、その評価対象に無関心な人に迷惑メールを打つといった事態を防ぐことができる。

【0042】請求項34に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、評価対象の表示が、評価数の少ない順、または評価数の多い順に行われることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項34に記載の発明によれば、すでになされた評価数の少ない順に表示された評価対象について評価すると、カリスマ評価者になりやすいので、評価しようという意欲を向上させることができる。評価数の多い順に表示された場合には、その評価対象が見やすい位置に表示されることにより、多大な広告効果が得られると共に、その評価対象はさらに多くの評価を得ようと努力する。

【0043】請求項35に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、評価対象の表示が、段階評価の平均値の高い順、または段階評価の平均値の低い順に行われることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項35に記載の発明によれば、段階評価の平均値の高い順に表示された場合には、その評価対象が見やすい位置に表示されることにより、多大な広告効果が得られると共に、その評価対象はさらに多くの評価を得ようと努力するという効果が得られる。一方、段階評価の平均値の低い順に表示された場合には、その評価対象が見やすい位置に表示されることにより、多大な広告効果が得られると共に、今後は良い評価が得られるようにと評価対象が努力するという効果が得られる。

【0044】請求項36に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、評価対象の表示が、評価数の多い順、または良い評価が多い順に表彰の態様で行われる

ことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項36に記載の発明によれば、表彰されることにより多大な広告効果が得られるだけでなく、他の評価対象も表彰されようと、改善すべく努力するという効果が得られる。

【0045】請求項37に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、評価者に対して、報奨を伴うポイントを累積的に付与すると共に、前記ポイントに応じて報奨を変えるように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項37に記載の発明によれば、ポイントが消えないので、評価者は報奨を得ても再度訪れて評価する気になる。また、ポイントに応じて報奨内容が変わるので、さらに再度訪れて評価する気持ちになる。

【0046】請求項38に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、評価文に対して、Webマスタによるキーワード検索を行うように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項38に記載の発明によれば、中傷誹謗等を追放することができる。

【0047】請求項39に記載の発明は、請求項38に記載の評価装置において、前記キーワード検索によって検出した評価文からその評価者をピックアップし、Webマスタが登録操作を行うことにより、中傷ユーザーの一覧表が作成されて表示されるように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項39に記載の発明によれば、中傷ユーザーを排除することができる。

【0048】請求項40に記載の発明は、請求項38に記載の評価装置において、前記キーワード検索によって検出した評価文をピックアップし、Webマスタが登録操作をすることにより、問題となる評価対象の一覧表が作成されて表示されるように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項40に記載の発明によれば、うそ情報を流す等の問題となる評価対象を公表することにより、消費者の被害を最小限にすることができる。

【0049】請求項41に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、利用者の要求に従って、書き込み数、段階評価値、投票数の少なくともいずれかをビジュアル表示することができるように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項41に記載の発明によれば、所定の評価結果を絵やグラフ、図形等を用いてビジュアル表示することにより、わかりやすさの向上を図ることができる。

【0050】請求項42に記載の発明は、請求項41に記載の評価装置において、前記ビジュアル表示が、属性別に行われることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項42に記載の発明によれば、属性に応じた評価結果を一目で理解することができるようになる。

【0051】請求項43に記載の発明は、請求項41に記載の評価装置において、前記ビジュアル表示が、レー

ダーチャートあるいは棒グラフによる表示であることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項43に記載の発明によれば、属性に応じた評価結果をさらに容易に理解することができるようになる。

【0052】請求項44に記載の発明は、請求項41に記載の評価装置において、前記ビジュアル表示が、所定の単位数毎に1つのイメージを設定し、その単位数に満たない部分はその1つのイメージを部分的に表示することにより、前記書き込み数または投票数を表すものであることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項44に記載の発明によれば、例えば、いすの絵1つで10個を表すものとし、“13”の書き込み数の場合、いすの絵1個と0.3個分のいすを可視化し、0.7個分のいすを非可視化して、“13”を表わすので、個数等の把握が容易なものとなる。

【0053】請求項45に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、評価対象及び評価者について、その属性イメージを表示するように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項45に記載の発明によれば、属性イメージの表現力の向上及び容易化を図ることができる。

【0054】請求項46に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、時間に対する評価の推移を表示するように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項46に記載の発明によれば、時間の経過に対応した評価の推移がわかる。

【0055】請求項47に記載の発明は、請求項46に記載の評価装置において、評価の時間軸グラフに評価を重ねさせるように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項47に記載の発明によれば、評価信頼度の認識性を向上させることができる。

【0056】請求項48に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、属性ごとの評価を提示することができるように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項48に記載の発明によれば、属性ごとの評価情報に絞って提供するので、利用者にとっては、その店の客層が誰で、どのような評価を得ているかがわかりやすくなる。

【0057】請求項49に記載の発明は、請求項48に記載の評価装置において、前記属性ごとの評価の提示が、所定の基準に基づいて、評価を並び替えて提示するものであることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項49に記載の発明によれば、属性ごとに、所定の基準に基づいて並び替えた評価の一覧表を提示することができるので、評価結果の有効性が大幅に向上する。例えば、評価対象の店長などが、ターゲットとなる主な客層の評価のみを見て、その評価対象を改善することができるようになる。

【0058】請求項50に記載の発明は、請求項48に記載の評価装置において、前記属性ごとの評価の提示

10

20

30

40

50

が、評価対象に対する評価の通知であることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項50に記載の発明によれば、例えば、店長が、評価サイトを見に来なくても、その評価対象に対する評価を知ることができるようになる。

【0059】請求項51に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、ある評価対象に対してなされた評価の内、特定の属性に属する評価をグループ化して、所定の統計処理を行うことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項51に記載の発明によれば、各種統計処理の有用性が大幅に向上する。

【0060】請求項52に記載の発明は、請求項51に記載の評価装置において、前記グループ化されたグループの名称を、そのグループの特性を把握することができる名称とすることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項52に記載の発明によれば、評価者のプロフィールを他の人が見てどのGrに属するかがわかると同時に、そのGrの内容がわかるようにすることができる。

【0061】請求項53に記載の発明は、請求項51に記載の評価装置において、前記特定の属性とは、同じ評価をした者であることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項53に記載の発明によれば、同様の価値感を有する人々でグループ化をすることができ、そのグループ単位の評価、あるいは他のグループが行った評価を見ることができるので、より多面的な評価結果が得られる。なお、「同じ評価」とは、例えば、その評価対象に対して、良い、悪いの評価が同じことをいう。

【0062】請求項54に記載の発明は、請求項51に記載の評価装置において、前記特定の属性とは、複数の属性の組み合わせであることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項54に記載の発明によれば、属性の最小単位を組み合わせ、複数の中単位、大単位の属性グループを作り、そのグループごとに評価をみることで、より多面的な評価結果が得られる。

【0063】請求項55に記載の発明は、請求項51に記載の評価装置において、1または複数のグループごとの評価結果をまとめて表示し、あるいは所定の報知先に報知することを特徴とする。上記のような構成を有する請求項55に記載の発明によれば、例えば、店長などの要求に応じて、属性ごとの評価結果に絞ってみることができる。

【0064】請求項56に記載の発明は、請求項55に記載の評価装置において、前記報知が、レポート形式により行われることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項56に記載の発明によれば、例えば、店長がわざわざHPを見にくる必要がなくなるので、手間が省ける。

【0065】請求項57に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、評価コメントを、電子メール、

自動電話あるいはFAXによって、評価対象へ通知するように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項57に記載の発明によれば、種々の手段を用いて評価コメントを通知することにより、評価対象のコンテンツ内容を改善してもらう意欲を向上させることができる。なお、通知手段は電子メールに限定していないので、インターネットを装備してないリアル店舗に対しても対応することができる。

【0066】請求項58に記載の発明は、請求項57に記載の評価装置において、前記評価対象への通知に対して、評価対象からのサンクスメールを対応する評価者へリターンするように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項58に記載の発明によれば、評価対象からサンクスメールが届くことにより、評価者の評価意欲の向上を図ることができる。また、評価対象と評価者の間に誤解が生じた場合であっても、互いの誤解を解消することができる。

【0067】請求項59に記載の発明は、請求項57に記載の評価装置において、前記評価対象への通知が、属性毎に一覧表化して行われることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項59に記載の発明によれば、属性ごとの評価による評価精度の向上を図ることができる。

【0068】請求項60に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、評価対象が店である場合に、その店が新装開店されたときは、その評価値を変えるように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項60に記載の発明によれば、評価対象が店である場合に、店長の新装開店に対する意欲を向上させることができる。

【0069】請求項61に記載の発明は、請求項60に記載の評価装置において、前記評価値の変更が、評価が悪い場合には0にリセットし、評価が良い場合には、更にプラス方向に所定値だけ加算するように構成されていることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項61に記載の発明によれば、評価が悪い場合には1から出直しができるようにし、一方、評価が良い場合には、さらにプラス方向に所定値だけ加算することにより、評価対象のさらなる改善意欲の向上を図ることができる。

【0070】請求項62に記載の発明は、請求項60に記載の評価装置において、前記評価値の変更が、評価対象自体にその評価値を設定させることにより行われることを特徴とする。また、請求項63に記載の発明は、請求項60に記載の評価装置において、前記評価値の変更が、所定の基準に基づいて、評価値の加重平均の重みを軽くすることにより行われることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項62または請求項63に記載の発明によれば、評価値を適性に変更することにより、評価対象のさらなる改善意欲の向上を図ることができる。

【0071】請求項64に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、評価対象の評判が悪い場合に、その改善を要求するメールを送るように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項64に記載の発明によれば、評価対象の改善意識の向上を図ることができる。

【0072】請求項65に記載の発明は、請求項64に記載の評価装置において、前記改善を要求するメールは、時間の経過と共にそのメール頻度を少なくするように設定されていることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項65に記載の発明によれば、評判の悪い評価対象には改善要求をたくさん出して、できるだけ早く改善してもらうようにしつつ、それにもかかわらず改善しない評価対象には、このようなメールは迷惑なだけなので、メール頻度を落とすことができる。

【0073】請求項66に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、評価対象の最初の表示順序は、その評価対象が負担した広告料金に応じて優先的に表示されるように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項66に記載の発明によれば、広告効果の高い初回表示は、広告料金を高く取るようにすることができる。

【0074】請求項67に記載の発明は、請求項66に記載の評価装置において、前記広告料金が所定額以上の評価対象に対して、所定のマークを付与することを特徴とする。上記のような構成を有する請求項67に記載の発明によれば、所定額以上の広告料金を支払っている評価対象に対しては、目立つマークを与えることにより、さらに高い広告効果が得られるようにすることができる。

【0075】請求項68に記載の発明は、コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置であって、各評価に関して、その評価が利用者にとって役に立つか否かを尋ね、役に立たないとの回答が所定レベル以上であることにより役に立たないとされた場合に、その評価を検出し、その後、Webマスタに通知する、又は、その評価を自動的に削除する処理を行う役に立たない評価処理部を備えたことを特徴とするものである。

【0076】請求項122に記載の発明は、請求項68に記載の発明を方法の観点から捉えたものであって、コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価方法であって、各評価に関して、その評価が利用者にとって役に立つか否かを尋ね、役に立たないとの回答が所定レベル以上であることにより役に立たないとされた場合に、その評価を検出し、その後、Webマスタに通知する、またはその評価を自動的に削除する処理を行う役に立たない評価処理ス

テップを有することを特徴とするものである。

【0077】請求項132に記載の発明は、請求項68または請求項122に記載の発明を実行するためのソフトウェアを記録した記録媒体という観点から捉えたものであって、コンピュータを用いて、1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価用ソフトウェアを記録した記録媒体であって、そのソフトウェアは、前記コンピュータに、前記各評価に関して、その評価が利用者にとって役に立つか否かを尋ねさせ、役に立たないとの回答が所定レベル以上であることにより役に立たないとされた場合に、その評価を検出させ、その後、Webマスタに通知させ、またはその評価を自動的に削除させることを特徴とするものである。

【0078】上記のような構成を有する請求項68、請求項122あるいは請求項132に記載の発明によれば、評価がまったく的外れの場合や、その評価対象に対するいやがらせ、評価対象側の一時的客寄せのためにせ評価等が載せられた場合に、正しい評価の複数性によって、間違った評価をWebマスタに通知して、その真偽を確認してもらったり、自動的に消去することにより、精度の高い評価を得ることができる。

【0079】請求項69に記載の発明は、請求項68に記載の評価装置において、前記所定レベルが、予め設定された所定値、又は所定割合であることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項69に記載の発明によれば、「その評価は役に立たない」という回答が、予め設定された所定値または所定割合以上の場合に所定の処理がなされるので、客観的に公平な評価結果を得ることができる。

【0080】請求項70に記載の発明は、コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置であって、その評価についての1つもしくは複数の優先表示条件のうち、利用者の選択指示に従って、特定の評価を優先的に表示する優先表示部を備えたことを特徴とするものである。

【0081】請求項123に記載の発明は、請求項70に記載の発明を方法の観点から捉えたものであって、コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価方法であって、その評価についての1つもしくは複数の優先表示条件のうち、利用者の選択指示に従って、特定の評価を優先的に表示する優先表示ステップを有することを特徴とするものである。

【0082】請求項133に記載の発明は、請求項70または請求項123に記載の発明を実行するためのソフトウェアを記録した記録媒体という観点から捉えたものであって、コンピュータを用いて、1つまたは複数の評

価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価用ソフトウェアを記録した記録媒体であって、そのソフトウェアは、前記コンピュータに、その評価についての1つもしくは複数の優先表示条件のうち、利用者の選択指示に従って、特定の評価を優先的に表示させることを特徴とするものである。

【0083】上記のような構成を有する請求項70、請求項123あるいは請求項133に記載の発明によれば、ある評価対象について、所定の基準に基づいて優先表示することができるので、良い評価を受けようと評価対象が改善するのに役に立つ。

【0084】請求項71に記載の発明は、請求項70に記載の評価装置において、前記優先表示条件が、その評価が役に立つとの投票数が多いこと、その評価が役に立たないとの投票数が多いこと、その評価に対する書き込み数が多いこと、あるいはその評価に対する書き込み数が少ないことのいずれかであることを特徴とする。

【0085】上記のような構成を有する請求項71に記載の発明によれば、優先表示条件が、「その評価が役に立つとの投票数が多いこと」である場合には、信頼度の高い評価をピックアップすることができ、優先表示条件が、「その評価が役に立たないとの投票数が多いこと」である場合には、どの評価がガセネタかがわかる。また、優先表示条件が、「その評価に対する書き込み数が多いこと」である場合には、ガセ情報が含まれる可能性はあるものの、多くの書き込みを判断することができるので、その真偽を自分で判断することができる。さらに、優先表示条件が、「その評価に対する書き込み数が少ないこと」である場合には、評価数が少ない、即ち、その評価対象に対しカリスマ評価者の称号を得やすい評価対象を選択することができる。

【0086】請求項72に記載の発明は、請求項70に記載の評価装置において、前記優先的に表示するとは、画面上の見やすい上部に表示する態様、又は同時に閲覧することができる同一画面上に表示する態様のいずれかであることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項72に記載の発明によれば、画面上の見やすい上部に表示する場合には、上部からスクロールすると下部を見ることができ、同時に閲覧することができる同一画面上に表示する場合には、所定数ごとに画面（ページ）をめくって見ることができる。

【0087】請求項73に記載の発明は、コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置であって、ランク付けに関する所定の場合分けロジックに従って、評価者としてのレベルをランク付けするランク付け部を備えたことを特徴とするものである。

【0088】請求項124に記載の発明は、請求項73

に記載の発明を方法の観点から捉えたものであって、コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価方法であって、ランク付けに関する所定の場合分けロジックに従って、評価者としてのレベルをランク付けするランク付けステップを有することを特徴とするものである。

【0089】請求項134に記載の発明は、請求項73または請求項124に記載の発明を実行するためのソフトウェアを記録した記録媒体という観点から捉えたものであって、コンピュータを用いて、1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価用ソフトウェアを記録した記録媒体であって、そのソフトウェアは、前記コンピュータに、ランク付けに関する所定の場合分けロジックに従って、評価者としてのレベルをランク付けさせることを特徴とするものである。

【0090】上記のような構成を有する請求項73、請求項124あるいは請求項134に記載の発明によれば、評価を行っている評価者に、その経験に応じて権威を付与することにより、評価の信頼性を向上させることができる。

【0091】請求項74に記載の発明は、請求項73に記載の評価装置において、前記ランク付けが、評価者の所定の経験に基づいてなされることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項74に記載の発明によれば、評価者の所定の経験に基づいて、その人の評価の権威付けを行うことにより、その評価の信頼度を上げることができる。

【0092】請求項75に記載の発明は、請求項74に記載の評価装置において、前記評価者の経験が、ショッピング経験であることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項75に記載の発明によれば、評価者のショッピング経験に基づいて、その人の評価の権威付けをすることができる。

【0093】請求項76に記載の発明は、請求項74に記載の評価装置において、前記評価者の経験が、評価者の所持品であることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項76に記載の発明によれば、評価者の持っているものの使用経験に基づいて、その人の評価の権威付けをすることができる。

【0094】請求項77に記載の発明は、請求項74に記載の評価装置において、前記評価者の経験が、評価者の評価経験であることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項77に記載の発明によれば、評価者の評価経験に基づいて、その人の評価の権威付けを行うことができるので、その評価の信頼度を上げることができる。

【0095】請求項78に記載の発明は、請求項73に記載の評価装置において、前記ランク付けに応じて、所

定のイラストを付与することを特徴とする。上記のような構成を有する請求項 78 に記載の発明によれば、そのランクの権威状態を一目でわかるようにすることができる。

【0096】請求項 79 に記載の発明は、請求項 73 に記載の評価装置において、前記ランク付けに応じて、ランクの高い評価から優先的に見やすい位置に表示することを特徴とする。上記のような構成を有する請求項 79 に記載の発明によれば、そのランクの高い評価者の評価を優先して取り扱うことができる。

【0097】請求項 80 に記載の発明は、請求項 73 に記載の評価装置において、前記ランクが高くなるに従って得票点数を上げることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項 80 に記載の発明によれば、ランクの高い評価者の評価を優遇することができる。

【0098】請求項 81 に記載の発明は、コンピュータネットワークを通じて 1 つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置であって、利用者の属性を収集する属性収集部と、その評価を読む複数の利用者について、前記属性収集部によって得た互いの属性が一致するか否かを判断し、同じ属性の利用者について所定の処理を行う属性一致時処理部を備えたことを特徴とするものである。

【0099】請求項 125 に記載の発明は、請求項 81 に記載の発明を方法の観点から捉えたものであって、コンピュータネットワークを通じて 1 つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価方法であって、利用者の属性を収集する属性収集ステップと、その評価を読む複数の利用者について、前記属性収集ステップによって得た互いの属性が一致するか否かを判断し、同じ属性の利用者について所定の処理を行う属性一致時処理ステップを有することを特徴とするものである。

【0100】請求項 135 に記載の発明は、請求項 81 または請求項 125 に記載の発明を実行するためのソフトウェアを記録した記録媒体という観点から捉えたものであって、コンピュータを用いて、1 つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価用ソフトウェアを記録した記録媒体であって、そのソフトウェアは、前記コンピュータに、利用者の属性を収集させ、その評価を読む複数の利用者について、互いの属性が一致するか否かを判断させ、同じ属性の利用者について所定の処理を行わせることを特徴とするものである。

【0101】上記のような構成を有する請求項 81、請求項 125 あるいは請求項 135 に記載の発明によれば、わざわざ評価してもらったことに対する楽しみを提供するために、属性一致時に、互いに通知し合い、同じ属性（趣味、趣向の似ている）の気の合う仲間を増やし

てもらえることができる。また、互いにその趣味に関する知識を深めあうこともできる。

【0102】請求項 82 に記載の発明は、請求項 81 に記載の評価装置において、前記所定の処理が、それぞれの関連情報を同じ属性の利用者に通知することであることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項 82 に記載の発明によれば、同じ属性の利用者に、評価者の関連情報を通知することが容易にできる。

【0103】請求項 83 に記載の発明は、請求項 81 に記載の評価装置において、前記所定の処理が、それぞれに通知の希望がある場合に、それぞれの関連情報を同じ属性の利用者に通知することであることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項 83 に記載の発明によれば、通知されることを好まない人にも、柔軟に対応することができる。

【0104】請求項 84 に記載の発明は、請求項 81 に記載の評価装置において、前記所定の処理が、それぞれの E メールアドレスを同じ属性の利用者に通知することであることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項 84 に記載の発明によれば、気の合いそうな仲間であっても、最初はメールから始めることができる。

【0105】請求項 85 に記載の発明は、請求項 82、請求項 83 又は請求項 84 に記載の評価装置において、それぞれの関連情報を通知された同じ属性の利用者の双方が、相手方との接触を希望する場合に、互いの連絡先を提示することを特徴とする。上記のような構成を有する請求項 85 に記載の発明によれば、同じ属性の利用者の双方が相手方との接触を希望する場合にのみ、互いの連絡先を提示するので、気の進まない相手との接触を避けることができる。

【0106】請求項 86 に記載の発明は、請求項 81 に記載の評価装置において、前記所定の処理が、属性の一致する評価者の評価を、優先的に見やすい位置に表示することを特徴とする。請求項 87 に記載の発明は、請求項 81 に記載の評価装置において、前記所定の処理が、属性の一致する評価のみを表示することを特徴とする。上記のような構成を有する請求項 86 または請求項 87 に記載の発明によれば、同じ属性の利用者についての処理が効率よく行えるようになる。

【0107】請求項 88 に記載の発明は、請求項 81 に記載の評価装置において、互いの属性が一致するか否かの判断が、利用者の選択した 1 又は複数の属性についてなされることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項 88 に記載の発明によれば、気の合いそうな人を自分が設定した基準に基づいて選択することができる。

【0108】請求項 89 に記載の発明は、コンピュータネットワークを通じて 1 つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置であって、評価の入力がなされた評価対象にその評価を通知し、必要に応じてその評価

に対するコメントを受け付けた後、所定の処理を行う通知処理部を備えたことを特徴とするものである。

【0109】請求項126に記載の発明は、請求項89に記載の発明を方法の観点から捉えたものであって、コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価方法であって、評価の入力がなされた評価対象にその評価を通知し、必要に応じてその評価に対するコメントを受け付けた後、所定の処理を行う通知処理ステップを有することを特徴とするものである。

【0110】請求項136に記載の発明は、請求項89または請求項126に記載の発明を実行するためのソフトウェアを記録した記録媒体という観点から捉えたものであって、コンピュータを用いて、1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価用ソフトウェアを記録した記録媒体であって、そのソフトウェアは、前記コンピュータに、評価の入力がなされた評価対象にその評価を通知させ、必要に応じてその評価に対するコメントを受け付けさせた後、所定の処理を行わせることを特徴とするものである。

【0111】上記のような構成を有する請求項89、請求項126あるいは請求項136に記載の発明によれば、評価をその評価対象に通知し、評価対象からその評価に対するコメントをリターンさせることで、その評価に対する誤解解消の場を提供したり、評価対象の改善の実行に対する約束付けによって、実際に改善される割合を大きくすることができる。

【0112】請求項90に記載の発明は、請求項89に記載の評価装置において、前記所定の処理が、評価対象からのその評価に対するコメントを受け付けた場合に、評価ごとに設けられた対話掲示板へそのコメントを表示することを特徴とする。上記のような構成を有する請求項90に記載の発明によれば、各評価に対して返答できるようにすることにより、誤解を解決する場を提供することができる。

【0113】請求項91に記載の発明は、請求項90に記載の評価装置において、前記対話掲示板に表示された各コメントについて、役に立つ／立たないの投票を受け付け、その投票結果を表示するように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項91に記載の発明によれば、どのコメントが信頼に値するかが容易にわかる。

【0114】請求項92に記載の発明は、請求項90に記載の評価装置において、前記対話掲示板において、当該評価者と評価対象の対話についての質問を受け付け、その質問に対する回答を受け付けて、別のQ & A 掲示板で表示するように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項92に記載の発明によれば、こ

の質問のレベルより更に深い知識を得られるようにすることができる。

【0115】請求項93に記載の発明は、請求項92に記載の評価装置において、前記Q & A 掲示板に表示された各コメントに対し、役に立つ／立たないの投票を受け付けるように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項93に記載の発明によれば、どのコメントが信頼に値するかが容易にわかる。

【0116】請求項94に記載の発明は、請求項92に記載の評価装置において、前記Q & A 掲示板にコメントを書き込んでもらった際に、当該評価対象についての評価の依頼を行うことを特徴とする。請求項95に記載の発明は、請求項94に記載の評価装置において、前記評価の依頼を行う前に、当該評価対象に関する経験の有無を問い、経験がある場合に、評価の書き込みを許可することを特徴とする。上記のような構成を有する請求項94あるいは請求項95に記載の発明によれば、その評価対象に対して興味のある人、また、評価をする資格のあると判断された人に評価してもらうことができる。

【0117】請求項96に記載の発明は、請求項89に記載の評価装置において、前記所定の処理が、評価対象からのその評価に対するコメントを受け付けた場合に、その評価者にリターンすることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項96に記載の発明によれば、その評価者に直接リターンすることにより、確実にその評価者に見てもらえるようにすることができる。

【0118】請求項97に記載の発明は、コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置であって、各評価対象に関する各評価項目ごとに所定の重み付けおよび関数の少なくとも一方を設定して、各評価対象について総合評価値を算出する総合評価部を備えたことを特徴とするものである。

【0119】請求項127に記載の発明は、請求項97に記載の発明を方法の観点から捉えたものであって、コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価方法であって、各評価対象に関する各評価項目ごとに所定の重み付けおよび関数の少なくとも一方を設定して、各評価対象について総合評価値を算出する総合評価ステップを有することを特徴とするものである。

【0120】請求項137に記載の発明は、請求項97または請求項127に記載の発明を実行するためのソフトウェアを記録した記録媒体という観点から捉えたものであって、コンピュータを用いて、1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価用ソフトウェアを記録した記録媒体であって、そのソフトウェアは、前記コン

ピュータに、各評価対象に関する各評価項目ごとに所定の重み付けおよび関数の少なくとも一方を設定させ、各評価対象について総合評価値を算出させることを特徴とするものである。

【0121】上記のような構成を有する請求項97、請求項127あるいは請求項137に記載の発明によれば、評価項目に対する重み付けを自由に行い、その重み付けに基づいて総合評価点ができるように自由に関数を設定できるようにすることにより、評価対象の総合評価が正確に行えるので、利用者が正しい選択を行えるようになる。

【0122】請求項98に記載の発明は、請求項97に記載の評価装置において、前記重み付けが、各評価項目ごとに設定された0～1.0の数値であり、その総和が1.0であることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項98に記載の発明によれば、評価項目が複数あっても、重み付けを1.0のような簡単な数値とし、評価項目毎に数値設定されるので、重視される評価項目とそうでない評価項目にわけて所定評価項目重視の総合評価点を算出でき、その総合評価点の数値化によって評価の利用者にとっても感覚的に評価がわかりやすくなり、評価自体の相対評価を得ることができる。

【0123】請求項99に記載の発明は、請求項98に記載の評価装置において、前記評価項目ごとの段階評価値の各段階ごとに前記数値が所定値にそれぞれ設定されていることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項99に記載の発明によれば、評価項目ごとの段階評価値の各段階ごとに0～1.0の数値を割り当てているので、更に、評価者も評価しやすく評価者ごとのばらつきも少なくなる。又、評価の利用者にとっても評価値が感覚的にわかりやすくなる。

【0124】請求項100に記載の発明は、請求項97に記載の評価装置において、前記重み付けが、各評価項目の所定のグループ毎に設定された0～1.0の数値であり、各グループ毎の総和が1.0であり、同一グループ内の各評価項目ごとに設定された0～1.0の数値の総和が1.0であることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項100に記載の発明によれば各評価項目の所定のグループが複数あっても、重み付けを1.0のような簡単な数値とし、グループ毎に数値設定されるので、重視される評価項目のグループとそうでない評価項目のグループにわけて所定グループ重視の総合評価点を算出できる。そして、その総合評価点の数値化によって評価の利用者にとっても評価値が感覚的にわかりやすくなり、評価自体の相対評価を得ることができる。

【0125】請求項101に記載の発明は、請求項97に記載の評価装置において、前記関数及び重み付け数値は、それぞれ表示して公開され、それらに対する修正値あるいは修正式を書き込む掲示板において、前記修正値あるいは修正式についての賛否を問い、その投票総数が

所定値を超えた場合にWebマスタに通知するように構成したことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項101に記載の発明によれば、関数及び重み付け数値について、個人の嗜好に偏らない、一般的な設定が可能となる。

【0126】請求項102に記載の発明は、請求項97に記載の評価装置において、前記関数及び重み付け数値の設定バリエーションごとに、評価ジャンルを設けたことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項102に記載の発明によれば、例えば、ラーメンのスープ重視派、麺重視派といった区分けができる。

【0127】請求項103に記載の発明は、請求項97に記載の評価装置において、前記関数及び重み付け数値は、利用者ごとに設定でき、所望の評価対象を検索できるように構成されていることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項103に記載の発明によれば、各利用者が必要とする人材、企業、好きな店等を一般的評価でヒットできる。

【0128】請求項104に記載の発明は、コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置であって、利用者の属性を収集する属性収集部と、評価書き込みまたは前記属性収集部の属性を収集するためのアンケート記入に対してゲームを提供するゲーム付加部を備えたことを特徴とするものである。

【0129】請求項128に記載の発明は、請求項104に記載の発明を方法の観点から捉えたものであって、コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価方法であって、利用者の属性を収集する属性収集ステップと、評価書き込みまたは前記属性収集ステップにおける属性を収集するためのアンケート記入に対してゲームを提供するゲーム付加ステップを有することを特徴とするものである。

【0130】請求項138に記載の発明は、請求項104または請求項128に記載の発明を実行するためのソフトウェアを記録した記録媒体という観点から捉えたものであって、コンピュータを用いて、1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価用ソフトウェアを記録した記録媒体であって、そのソフトウェアは、前記コンピュータに、利用者の属性を収集させ、評価書き込みまたは属性を収集させるためのアンケート記入に対してゲームを提供させることを特徴とするものである。

【0131】上記のような構成を有する請求項104、請求項128あるいは請求項138に記載の発明によれば、評価書き込み後等にゲームを付加することで、書き込んだ後におもしろさを追加して、より積極的な書き込みを促すようにすることができる。

【0132】請求項105に記載の発明は、請求項104に記載の評価装置において、前記ゲームの種類が、評価コメント数の多寡に応じて変更可能に設定されていることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項105に記載の発明によれば、より多く書き込むと、より面白いゲームが楽しめるようにすることにより、できるだけ多く書き込んでもらうことができる。

【0133】請求項106に記載の発明は、請求項104に記載の評価装置において、前記ゲームが、評価コメント数の多寡に応じて、その当たりの確率を変更することができるように設定されていることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項106に記載の発明によれば、より多く書き込むと、当たりの確率が高くなるようにすることにより、できるだけ多く書き込んでもらうことができる。

【0134】請求項107に記載の発明は、請求項1に記載の評価装置において、モバイル通信機器との間で、評価対象を特定してその評価情報のアップロード機能あるいはダウンロード機能の少なくとも一方を果たすモバイル機器処理部を備えたことを特徴とするものである。

【0135】請求項129に記載の発明は、請求項107に記載の発明を方法の観点から捉えたものであって、請求項121に記載の評価方法において、モバイル通信機器との間で、評価対象を特定してその評価情報のアップロード機能あるいはダウンロード機能の少なくとも一方を果たすモバイル機器処理ステップを有することを特徴とするものである。

【0136】請求項139に記載の発明は、請求項107または請求項129に記載の発明を実行するためのソフトウェアを記録した記録媒体という観点から捉えたものであって、請求項131に記載の評価用ソフトウェアを記録した記録媒体において、モバイル通信機器との間で、評価対象を特定してその評価情報のアップロード機能あるいはダウンロード機能の少なくとも一方を果たさせることを特徴とするものである。

【0137】上記のような構成を有する請求項107、請求項129あるいは請求項139に記載の発明によれば、現在歩いている居所と欲しい商品を利用者が評価サイトに入力すると、その付近の店の住所と、その店の評価情報と、その店で扱っている商品の評価情報とを、評価サイトを指定して自在に取り出すことができる。これにより、欲しいジャンルのものをよりよい商品で、しかも安いと評判の店で手に入れることができる。

【0138】請求項108に記載の発明は、請求項107に記載の評価装置において、前記評価対象の特定は、利用者が所定の評価対象リストの中からモバイル通信機器を用いて選定することにより行うことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項108に記載の発明によれば、街にある評価対象（例えば、店）の情報を常時

店）の情報を、その評価対象を知らない人に伝えるためにアップロードすることができる。

【0139】請求項109に記載の発明は、請求項107に記載の評価装置において、前記評価対象の特定は、利用者が評価対象のジャンルリストの中から選択したジャンルに基づいて提示された評価対象リストの中からモバイル通信機器を用いて選定することにより行うことを特徴とする。上記のような構成を有する請求項109に記載の発明によれば、ジャンルから評価対象を特定できるので、時間をかけないですむ。

【0140】請求項110に記載の発明は、請求項109に記載の評価装置において、前記ジャンルリストは、場所リストを含むことを特徴とする。請求項111に記載の発明は、請求項109に記載の評価装置において、前記ジャンルリストは、50音順索引リストであることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項110または請求項111に記載の発明によれば、ジャンルリストの有用性が大幅に向上する。

【0141】請求項112に記載の発明は、請求項107に記載の評価装置において、前記評価情報が、評価が記載された文、段階評価値、評価数の少なくともいずれかであることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項112に記載の発明によれば、わかりやすい評価情報を得ることができる。

【0142】請求項113に記載の発明は、請求項107に記載の評価装置において、前記評価情報が、評価者の属性ごと集計された評価情報であることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項113に記載の発明によれば、嗜好の合わない人の評価を見なくてよいので、自分にとって正しい評価情報を手に入れることができる。

【0143】請求項114に記載の発明は、請求項107に記載の評価装置において、前記評価対象が、店であることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項114に記載の発明によれば、店の全般的なサービスを受ける場合、この情報があると決めやすくなる。

【0144】請求項115に記載の発明は、請求項107に記載の評価装置において、前記評価対象が、取り扱われている商品であることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項115に記載の発明によれば、店の部分的なサービスを受ける場合、この情報があると決めやすい。

【0145】請求項116に記載の発明は、請求項107に記載の評価装置において、前記評価対象の特定が、キーワード検索によって行えるように構成されていることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項116に記載の発明によれば、キーワード検索によって評価対象を特定することができるので、利便性が大幅に向上する。

【0146】請求項117に記載の発明は、請求項10

7に記載の評価装置において、前記評価情報が、音声及び映像の少なくとも一方で送受信されるように構成されていることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項117に記載の発明によれば、評価文を書く手間が不要となる。

【0147】請求項118に記載の発明は、請求項107に記載の評価装置において、前記評価情報を入力した利用者に対して、キャッシュバックすることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項118に記載の発明によれば、情報の入力を促進することができる。

【0148】請求項119に記載の発明は、請求項107に記載の評価装置において、前記評価情報を入力した利用者に対して、次回利用時に割引サービスすることを特徴とする。上記のような構成を有する請求項119に記載の発明によれば、情報の入力を促進できると共に、再度の来店を促進することができる。

【0149】請求項120に記載の発明は、コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置であって、利用者の属性を収集する属性収集部と、利用者が、ある評価対象に対して評価を入力する際に起動される評価受付部と、前記属性収集部による収集データに基づいて利用者の属性を分類し、その属性に応じた評価を受け付け、これらの評価を利用者の指示に従って表示する属性評価部と、各評価に関して、その評価が利用者にとって役に立つか否かを尋ね、役に立たないとの回答が所定レベル以上であることにより役に立たないとされた場合に、その評価を検出し、その後、Webマスタに通知する、またはその評価を自動的に削除する処理を行う役に立たない評価処理部と、その評価についての1つもしくは複数の優先表示条件のうち、利用者の選択指示に従って、特定の評価を優先的に表示する優先表示部と、ランク付けに関する所定の場合分けロジックに従って、評価者としてのレベルをランク付けするランク付け部と、その評価を読む複数の利用者について、前記属性収集部によって得た互いの属性が一致するか否かを判断し、同じ属性の利用者について所定の処理を行う属性一致時処理部と、評価の入力がなされた評価対象にその評価を通知し、必要に応じてその評価に対するコメントを受け付けた後、所定の処理を行う通知処理部と、各評価対象に関する各評価項目ごとに所定の重み付けおよび関数の少なくとも一方を設定して、各評価対象について総合評価値を算出する総合評価部と、評価書き込みまたは前記属性収集部の属性を収集するためのアンケート記入に対してゲームを提供するゲーム付加部と、モバイル通信機器との間で、評価対象を特定してその評価情報のアップロード機能あるいはダウンロード機能の少なくとも一方を果たすモバイル機器処理部とを備えたことを特徴とするものである。

【0150】請求項130に記載の発明は、請求項12

0に記載の発明を方法の観点から捉えたものであって、コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価方法であって、利用者の属性を収集する属性収集ステップと、利用者が、ある評価対象に対して評価を入力する際に起動される評価受付ステップと、前記属性収集ステップによる収集データに基づいて利用者の属性を分類し、その属性に応じた評価を受け付け、これらの評価を利用者の指示に従って表示する属性評価ステップと、各評価に関して、その評価が利用者にとって役に立つか否かを尋ね、役に立たないとの回答が所定レベル以上であることにより役に立たないとされた場合に、その評価を検出し、その後、Webマスタに通知する、またはその評価を自動的に削除する処理を行う役に立たない評価処理ステップと、その評価についての1つもしくは複数の優先表示条件のうち、利用者の選択指示に従って、特定の評価を優先的に表示する優先表示ステップと、ランク付けに関する所定の場合分けロジックに従って、評価者としてのレベルをランク付けするランク付けステップと、その評価を読む複数の利用者について、前記属性収集ステップによって得た互いの属性が一致するか否かを判断し、同じ属性の利用者について所定の処理を行う属性一致時処理ステップと、評価の入力がなされた評価対象にその評価を通知し、必要に応じてその評価に対するコメントを受け付けた後、所定の処理を行う通知処理ステップと、各評価対象に関する各評価項目ごとに所定の重み付けおよび関数の少なくとも一方を設定して、各評価対象について総合評価値を算出する総合評価ステップと、評価書き込みまたは前記属性収集ステップにおける属性を収集するためのアンケート記入に対してゲームを提供するゲーム付加部と、モバイル通信機器との間で、評価対象を特定してその評価情報のアップロード機能あるいはダウンロード機能の少なくとも一方を果たすモバイル機器処理ステップとを有することを特徴とするものである。

【0151】請求項140に記載の発明は、請求項120または請求項130に記載の発明を実行するためのソフトウェアを記録した記録媒体という観点から捉えたものであって、コンピュータを用いて、1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価用ソフトウェアを記録した記録媒体であって、そのソフトウェアは、前記コンピュータに、利用者の属性を収集させ、利用者がある評価対象に対して評価を入力しようとする際に、その評価を受付けさせ、収集させた属性に関するデータに基づいて利用者の属性を分類させ、その属性に応じた評価を受け付けさせ、これらの評価を利用者の指示に従って表示させ、各評価に関して、その評価が利用者にとって役に立つか否かを尋ねさせ、役に立たないとの回答が所定レベル以上であることにより役に立たないとされた場合

に、その評価を検出させ、その後、Webマスタに通知させ、またはその評価を自動的に削除させ、その評価についての1つもしくは複数の優先表示条件のうち、利用者の選択指示に従って、特定の評価を優先的に表示させ、ランク付けに関する所定の場合分けロジックに従って、評価者としてのレベルをランク付けさせ、その評価を読む複数の利用者について、互いの属性が一致するかどうかを判断させ、同じ属性の利用者について所定の処理を行わせ、評価の入力がなされた評価対象にその評価を通知させ、必要に応じてその評価に対するコメントを受け付けさせた後、所定の処理を行わせ、各評価対象に関する各評価項目ごとに所定の重み付けおよび関数の少なくとも一方を設定させ、各評価対象について総合評価値を算出させ、評価書き込みまたは属性を収集させるためのアンケート記入に対してゲームを提供させ、モバイル通信機器との間で、評価対象を特定してその評価情報のアップロード機能あるいはダウンロード機能の少なくとも一方を果たさせることを特徴とするものである。

【0152】上記のような構成を有する請求項120、請求項130あるいは請求項140に記載の発明によれば、利用者の属性を正確に把握するために、属性収集部によって利用者の属性を収集し、このデータに基づいて利用者の属性を分類し、その属性に応じた評価を受け付け、これらの評価を利用者の指示に従って表示することにより、正確な評価を得ることができ、また、評価がまったく的外れの場合や、その評価対象に対するいやがらせ、評価対象側の一時的客寄せのためのにせ評価等が載せられた場合に、正しい評価の複数性によって、間違った評価をWebマスタに通知して、その真偽を確認してもらったり、自動的に消去することにより、精度の高い評価を得ることができる。

【0153】また、ある評価対象について、所定の基準に基づいて優先表示することができるので、良い評価を受けようと評価対象が改善するのに役に立つと共に、評価を行っている評価者に、その経験に応じて権威を付与することにより、評価の信頼性を向上させることができ、さらに、わざわざ評価してもらったことに対する楽しみを提供するために、属性一致時に、互いに通知し合い、同じ属性(趣味、趣向の似ている)の気の合う仲間を増やしてもらうことができる。また、互いにその趣味に関する知識を深めあうこともできる。

【0154】また、評価をその評価対象に通知し、評価対象からその評価に対するコメントをリターンさせることで、その評価に対する誤解解消の場を提供したり、評価対象の改善の実行に対する約束付けによって、実際に改善される割合を大きくすることができ、評価項目に対する重み付けを自由に行い、その重み付けに基づいて総合評価点ができるように自由に関数を設定できるようにすることにより、評価対象の総合評価が正確に行えるので、利用者が正しい選択を行えるようになる。

【0155】さらに、評価書き込み後等にゲームを付加することで、書き込んだ後におもしろさを追加して、より積極的な書き込みを促すようにすることができ、現在歩いている居所と欲しい商品を利用者が評価サイトに入力すると、その付近の店の住所と、その店の評価情報と、その店で扱っている商品の評価情報とを、評価サイトを指定して自在に取り出すことができるので、欲しいジャンルのものをよりよい商品で、しかも安いと評判の店で手に入れることができる。

【0156】

【発明の実施の形態】次に、本発明の実施の形態(以下、実施形態という)について、図面に基づいて具体的に説明する。すなわち、本実施形態は、評価者、評価自体、あるいは評価対象の利用者の属性に応じた評価を実行する評価装置であり、図1に示す評価サイトHとして実現される。また、本実施形態は、属性に応じた評価方法及び属性に応じた評価用ソフトウェアを記録した記録媒体として把握することもできる。

【0157】[1. 構成] 図1に示すように、サーバーである評価サイトHは、コンピュータネットワークであるインターネットN1を介して、評価対象の責任者(例えば、お店の店長)、評価情報(口こみ情報)を見にきた人、評価者等、上記評価サイトHを利用する者(以下、利用者という)が用いる複数の利用者端末装置Tと接続されている。また、この評価サイトHは、電話通信網N2を介して、上記利用者が所有する複数のFAX送受信機F及び電話通話機tと接続されている。

【0158】上記利用者端末装置Tは、パソコン、ゲーム機、TV、携帯電話等であり、インターネットN1とのデータ送受信のためのデータ受信部T1とデータ送信部T2と、インターネットN1からの受信にかかわる設定のため、またはインターネットN1へ送信するためのキーボード、マウス、マイクとマイクからの音声認識するための音声認識ソフト等のデータ入力部T3と、これらのデータを表示する表示部T4を備えている。

【0159】上記FAX送受信機Fは、FAXデータを受信するFAX受信部F1と、FAXデータを送信するFAX送信部F2とを備え、電話通話機tは、話をしたり、所望の数値をダイヤルあるいはプッシュすることにより、所望の数値を指定することができるように構成されている。

【0160】上記評価サイトHはサーバーであり、インターネットN1とのデータ送受信のためのデータ受信部H01とデータ送信部H02と、インターネットN1からの受信にかかわる設定のため、またはインターネットN1へ送信するためのキーボード、マウス、マイクとマイクからの音声認識するための音声認識ソフト等のデータ入力部H03と、これらのデータを表示する表示部H04を備えている。

【0161】また、評価サイトHは、前記電話通信網N

2を介してFAXデータを受信するFAX受信部H05と、FAXデータを送信するFAX送信部H06とを備え、さらに、テキストデータを音声に変換して電話通話機へ通話したり、電話通話機からの音声（ダイヤル番号の識別を含む）をテキストデータに変換する電話音声変換部H07を備えている。また、前記FAX受信部H05及びFAX送信部H06には、FAXデータ変換部H08が接続されている。このFAXデータ変換部H08は、利用者からファクシミリで送信される書面から文字認識を行う文字認識手段であり、具体的には、FAXで送られてきたイメージデータを所定のデータに変換したり、逆に種々のデータをイメージデータ化するという処理を行う。

【0162】また、評価サイトHは、本発明の特徴部分である、評価者の属性に応じた評価を受け付けたり、これらの評価を利用者の指示に従って表示する属性評価部H09と、評価者、評価自体、あるいは評価対象の利用者の属性を収集する属性収集部H10と、各評価に関して、“その評価は役に立たない”という投票結果を得た場合に、その評価をピックアップしてWebマスタに通知したり、その評価を削除する役に立たない評価処理部H11と、特定の評価を見やすい位置に優先的に表示する優先表示部H12と、評価者としてのレベルをランク付けするランク付け部H13と、同じ属性の人々を互いに紹介する属性一致時処理部H14と、評価がなされた評価対象の例えば店長にその評価を通知したり、その評価に対するコメントを評価者に返す通知処理部H15と、評価項目毎に重み付けした数値を設定したり、その数値を用いて総合評価値を算出する関数を設定して、評価対象に対する総合評価を行う総合評価部H16と、評価書き込み終了時またはアンケート終了時等に、書き込んだもらった御礼にゲームをして楽しんでもらうゲーム付加部H17と、モバイル機器との間で、評価情報のアップロード及びダウンロード機能を果たすモバイル機器処理部H18と、評価者が、評価入力スイッチを入れることにより起動される評価受付部H19とを備えている。

【0163】なお、前記属性収集部H10としては、所定のアンケートを、コンピュータネットワークを介しての、書き込み、電子メール、電話による番号指定、あるいはFAXの少なくともいずれかによって実施するアンケート部、あるいは、アンケートの回答を電話で受け付けて、その結果をWebマスタが手入力でサーバーに入力するもの等が用いられる。

【0164】また、前記アンケート部としては、所定のアンケート項目を設定し、このアンケート項目の内、メールアドレス、氏名等といった一部の項目についてはサイト上でアンケートし、残りの項目については、電子メール、FAX又は電話等によるアンケートとして実施するように構成することもできる。なお、以下に示す実施

形態においては、属性収集部H10としてアンケート部を用いた場合について説明する。

【0165】また、前記優先表示部H12は、ある評価についてその評価が役に立つ／立たないの投票数をカウントする手段と、書き込み数をカウントする手段を備え、その評価についての1つもしくは複数の優先表示条件のうち、利用者の選択指示に従って、特定の評価を優先的に表示するように構成されている。

【0166】〔2. 作用及び効果〕上記のように構成された本実施形態は、次のように作用する。

【0167】〔2-1. 概略〕評価サイトHは、所定のアンケートを実施し、評価者や利用者の属性に応じた評価データを得るために、上記のアンケート結果に基づいて高精度な属性判別を行い、評価の信頼性の向上を目的として、質の悪い評価を排除したり、評価対象における改善意欲の向上を目的として、評価対象に対して、得られた評価を通知すると共に、評価対象からの応答を得ることができる。また、評価者の評価意欲を向上させるために、表彰や格付けを行い、さらに、使い勝手を良くするために、ユーザーインターフェースを充実させ、評価の公序良俗を保つために、汚い言葉等をキーワードで検索して処理することができる。

【0168】〔2-2. 具体的手順〕

〔2-2-1. 評価サイトのメインルーチン〕ここで、本実施形態における評価サイトのメインルーチンの処理手順を図2に示す。この手順は、ステップ201（図中、S201と記す）からステップ210にそれぞれ対応するサブルーチンを、他のシステム処理に加えて、属性に応じた評価用ソフトウェアが無限に繰り返すことによって実現される。なお、以下に詳述する各サブルーチンは、常にそれらのすべてが図2に示した順序で実行されるわけではなく、必要に応じて選択的に実行される場合もある。

【0169】すなわち、図2に示したように、まず、ステップ201において、属性収集部（アンケート部）H10の作用により、評価者の属性を調べるためのアンケートを実行すると、ただちに、ステップ202において、属性評価部H09の作用により、アンケートを実行した評価者等の属性を評価する。その後、ステップ203において、ゲーム付加部H17の作用により、評価書き込み終了時またはアンケート終了時等に、書き込んだもらった御礼にゲームを楽しんでもらう等、苦勞してでも書き込んでもらえるように楽しさを提供する。

【0170】次に、ステップ204において、役に立たない評価処理部H11の作用により、評価者及び利用者によって“役に立たない”と判別された評価を、場合によって消去したり、Webマスタに通知する。次に、ステップ205において、ランク付け部H13の作用により、評価者のランク付けを行い、ステップ206において、優先表示部H12の作用により、利用者等の要求に

従って、評価結果を種々の態様で優先的に表示する。

【0171】ステップ207において、属性一致時処理部H14の作用により、同じ属性の人々を互いに紹介し合い、ステップ208において、総合評価部H16の作用により、評価項目毎に重み付けを行ったり関数を設定して、評価対象についての総合評価を行う。また、ステップ209において、通知処理部H15の作用により、評価結果を評価対象に通知し、評価対象よりその評価結果に対するコメントを得る。ステップ210において、モバイル機器処理部H18の作用により、利用者から要求された態様で、評価情報（口こみ情報）をアップロードしたり、ダウンロードする。以下、上記各サブルーチンについて、フローチャートに従って詳述する。

【0172】〔2-2-2. アンケート部におけるアンケート実行処理〕図3は、属性収集部（アンケート部）H10におけるアンケート実行処理のフローチャートを示したものである。

【0173】まず、ステップ301において、そのアンケート実施者（評価者、利用者等）による登録が初めてであるか否かが判断され、初めて登録するのであればステップ302に進み、Webサイトにおけるアンケート（一次アンケート）を実施する。このアンケートの内容は、ほとんど変更のない個人の固定的属性として、電子メールアドレス、氏名等の最小限の項目とすることが好ましい。評価者等の属性を正確に割り出すことができるようにするためには、アンケートは長いものとなるので、電話代が多くかかったり、途中で書くのがいやになるという問題があるからである。また、ほとんど変更のない個人の固定的特性を何度も書く手間を省くためである。

【0174】次に、ステップ303において、アンケート実施者の属性を細かく分類するために、電話、FAX、電子メール等を用いてさらに詳しいアンケート（二次アンケート）を実施する。その内容は、固定的属性であり、住む地域、年齢、性別、嗜好、趣味、職業、各評価対象に対する経験（購買経験、評価経験…）等である。このアンケートに対する回答は、電子メール等によって届き、後述する属性評価部H09に自動的に読み込まれて、その属性に応じて分類される（図7の属性分類のフローチャート参照）。

【0175】一方、そのアンケート実施者がすでに登録されており、新しい評価をしようとしている場合には、ステップ301において、その者による登録が初めてではないと判断されてステップ304に進み、Webサイトにおけるアンケートを実施する。なお、このアンケートには、その評価者が評価した評価対象や、評価自体を特定する文言が自動的に記載される。

【0176】このアンケートは、ステップ302でアンケートした内容、すなわちメールアドレスに変更がないかどうかと、このときの評価に関する変動的属性、すな

わち、その評価対象を知り得た時（when）、その評価対象の場所（where）、その評価対象の利用内容（what）、その評価対象を利用した理由（why）、その評価対象を誰のために利用したのか（who）、その評価対象をどのように利用したのか（例えば、購入、参照等）について、あらかじめ設定されているチェックボックスを選択することで行う。他にショッピング経験を確認するようにしてもよい。

【0177】続いて、ステップ305において、さらに詳細なアンケートが行われる。すなわち、あらかじめ設定されているチェックボックスで“その他”が選択されたとき、上記5W2H（5WHに、How muchを付加）の少なくとも1つを、文章によって、電話、FAX、電子メール等を用いてアンケート実施者に送り、その者の変動的属性についてさらに詳しいアンケートを実施する。例えば、固定的属性である住む地域、年齢、性別、嗜好、趣味、職業、各評価対象に対する経験等を記載して、電話、FAX、電子メール等を用いてアンケート実施者に送り、その者がこれら固定的属性を修正できるようにしておく。

【0178】このように時間のかかるアンケートの文章を、Webサイトに接続することなく、しかも、アンケート実施者のあいた時間に入力することができるので、アンケート実施者の電話代を安くでき、アンケートに答えることが途中で面倒になってしまうことを防止できる。

【0179】このようなアンケートにより、評価をするたびに変動する個人の状況的特性を把握することができるので、個人の変動的属性に応じたより詳細な評価が可能となる。また、ある評価対象（例えば、ある商品）に対する評価を得たい場合に、その評価対象を購入後、所定期間を経過した後にアンケートを実施すれば、その商品を購入してから後の商品の使用情報を得ることができる。

【0180】なお、後述するように、ある評価者がこのアンケートを実施した後、評価入力ボタンを押すと、後述する図8に示したフローチャートに従って、その者が評価する適格性があるか否かが判断され、適格性があると判断された場合には、評価することを許可され、その評価者が独自の評価を入力することができるように構成されている（図8の評価受付部のフローチャート参照）。

【0181】一方、評価できる経験がないと判断された場合、もしくは、まだこの初回登録時のアンケートを記入していない場合には、他の評価者が行った評価を参照することはできるが、自らが独自の評価を入力することはできないように構成されている。

【0182】また、上記アンケートの形態として、例えば、“料理は中華料理が好き”とチェック選択すると、子ウインドで中華料理のメニューが示され、“酢豚”、

“餃子”などの個別料理をチェック選択できるようなプランチ式のアンケート方式を採用することにより、その評価対象について総合評価が容易なものとなる（図12の総合評価部のフローチャート参照）。

【0183】[2-2-3. 属性評価部における処理] 図4～図6は、属性評価部H09における属性評価処理のフローチャートを示したものである。なお、このフローチャートに示す各ステップは、常にそれらのすべてが図4～図6に示した順序で実行されるわけではなく、本発明に係る評価サイトの利用者の要望に応じて、選択的に、また順序を変更して実行される場合もある。

【0184】この属性評価部H09においては、ステップ401の属性分類サブルーチンにより、評価を利用する人や評価者としての適性が認められた評価者の属性に応じた評価データを得るために、上述したアンケートの結果に基づいて高精度な属性判別が行われる。

【0185】すなわち、本発明に係る評価サイトHにおいて、新しい評価（評価文、良かった／悪かったの5段階評価、役に立つ／立たないの投票等の少なくとも1つ）の入力を得た場合、又は、上記アンケート部H10で新しいアンケートを得た場合、この属性評価部H09において、評価、評価者、評価対象ごとにその属性を分類してデータベースへ記憶する（ステップ401）。続いて、属性分類サブルーチンにおける処理について説明する。

【0186】[2-2-3-1. 属性分類ルーチンにおける処理] 図7は、上記属性評価部H09における属性分類サブルーチンのフローチャートを示したものである。

【0187】まず、ステップ701において、初回登録時の固定的属性を抽出するための一次アンケート（図3のステップ302参照）、あるいは、新しい評価（評価文、良かった／悪かったの5段階評価、役に立つ／立たないの投票等の少なくとも1つ）が入力された時の変動的属性を抽出するためのアンケート結果より（図3のステップ304参照）、その評価者等がどの属性に該当するかを、予め設定された属性の中から選択して得たその属性No（なお、Noとは、識別コードIDをいう）、評価対象No（評価の対象となる人や物以外に、評価の評価ということから、評価自体も対象となる）、評価自体のNo、新規会員であれば会員No等を記憶する。

【0188】続いて、ステップ702において、評価対象のデータベースに、評価者の会員No、評価Noを記憶させる。この評価対象とは、例えば、料理であるとか、曲であるとか、旅行先の特定地域であるとかの、人や物以外にも、他の評価自体である場合もある。なお、このステップ702の処理によって各評価対象に記憶された評価者の会員No等は、後に、図4のステップ405、ステップ407、図5のステップ409に関連づけて表示したり、積算させるために用いられる。

【0189】次に、ステップ703において、上記アンケート部H10で行った初回登録時のアンケートより、個人の年齢、趣味、好み、興味の対象、性別、所在、職業、所属団体等の個人の固定的特性を属性割り振りする。ここで、「属性割り振りする」とは、例えば、年齢の段階別（10～19才、20～29才、30～39才、40～49才等）、趣味（アウトドア族、釣り族、カーキチ族等）、好み（色、季節、中華料理等）、所在（愛知県**市、東京都**区等）等についての、予め設定された属性カテゴリグループのデータベースに、会員Noと、その評価自体のNoとを記憶させることをいう。また、「属性カテゴリグループ」とは、例えば、上記各属性について（ ）内に列記した各グループをいう。

【0190】続いて、ステップ704において、評価入力毎に行うアンケートより、その評価対象を利用した目的の特性、5W1H等の状況的特性を変動的属性として割り振る。すなわち、この「属性割り振り」とは、例えば、その評価対象を利用した目的（例えば、評価対象である店でコートを買った目的）が、北国へ引っ越したがコートがないので初めて購入したのか、持っていたコートが時代遅れになったので買い直したとかの目的に応じて評価の質が異なる。また、平均気温5℃の東京で買うのか、平均気温-20℃の北海道で買うのかで、買うコートへの要求が異なり、暖かい地域で買う場合には、保温性より動きやすさが重視され、寒い地域で買う場合には、保温性が重視される。

【0191】このように、買ったものに対する評価は、その購入目的別に分類する必要がある。さらに、この評価は、5W1Hごとに分類することがより好ましい。従って、評価対象毎に設定された目的、もしくは5W1H毎の属性カテゴリグループのデータベースに、その評価自体のNoと、評価した会員Noとを記憶する。

【0192】続いて、ステップ705において、 $F(a, b, c, d, \dots) = a * p_a + b * p_b + c * p_c + d * p_d + \dots$ に各属性毎に設定された p_a, p_b, p_c, \dots を代入して、この数値が所定値以上の場合に、「この人はその属性に含まれる」と決定する。

【0193】すなわち、カーキチ属性の場合、 a, b は、Check Boxのイエスの選択で“on”、又は、ノーの選択で“off”である。なお、この $p_a = 0.9, p_b = 0.9, p_c = 0, p_d = 0, \dots$ といった数値は、Webマスタが設定する。また、このCheck Boxは、アンケートで「車が好き」と答えると自動的に起動されて、例えば、市販車の燃費性能を知っているかどうかについて、 $a = 1$ ：市販車の燃費性能を熟知、 $a = 0.5$ ：市販車の燃費性能をそこそこ知っている、 $a = 0$ ：燃費性能を全く知らない、というような3段階のチェックを行う。同様に、 b （3段階、0、0.5、1）：市販車の価格を知っている、 c （0、0.

5、1) : 出力性能を知っている、d (0、0、5、1) : 外見に詳しい等、種々のアンケート項目について、同様のチェックを行う。このようにして属性が決定されると、属性分類のサブルーチンは終了して、図4のステップ402に進む。

【0194】[2-2-3-2. 属性評価部における処理の続き] 図4のステップ401において属性が決定された利用者が、昨日の閲覧に続く今日このときにおいて、その評価対象の一覧を見るのが初めてか否かが判断され(ステップ402)、初めてその評価対象の一覧を目にする場合にはステップ403に進み、広告料金等の順番で評価対象を表示する。なかでも、所定のマーク料金を払った評価対象は、目立つマークをつけて見やすい上部に表示する。一方、初めてでなければステップ404に進む。

【0195】続いて、ステップ404において、新しい評価の入力があるか否かが判断され、新しい評価の入力がある場合には、ステップ405に進み、評価対象Noの評価対象又は評価自体に、所属属性ごとに関連付けて、その評価内容を表示する。

【0196】例えば、新しい評価の入力が“文章”によってなされた場合には、ステップ405において、評価対象Noの評価対象又は評価自体に、所属属性ごとに関連付けて、その評価の文章を表示する。この表示方法としては、例えば、被評価対象(評価)を四角形等で囲うと共に、今回の評価文を四角形等で囲って、両者を線で結んで表示する方法等がある。

【0197】また、新しい評価の入力が“5段階評価”によってなされた場合には、ステップ405において、評価対象Noの評価対象又は評価自体に、所属属性ごとに関連付けて、その5段階評価の平均値を算出して表示する。例えば、この評価者が女性で20~29歳であるという属性ごとの5段階評価の平均値を表示する。

【0198】また、新しい評価の入力が“ある評価対象に対してなされた評価が、その評価者にとって役に立つかどうかの投票”によってなされた場合には、ステップ405において、評価対象Noの評価対象又は評価自体に、所属属性ごとに関連付けて、その評価が役に立つか否かの投票総数を計算して表示する。すなわち、評価の評価を繰り返した結果、ツリー構造の評価セットができあがる。例えば、その評価セットの大枝の基となる評価は、いくつかの中枝とこれら中枝からの小枝評価の全てについての“役に立つ”との投票数を加算して表示する。

【0199】但し、ある評価対象が所定回数以上(例えば20回以上)評価されていないと、その評価は全ての態様において表示されないように構成することが望ましい。また、評価文、評価数、役に立つ投票数、5段階評価値は色を薄く表示したり、一番目立たない下部に常に表示されるようにしてもよい。その際、「あとn個集

まると評価分析を開始します」とか、「表示します」といったコメントを表示するようにしてもよい。このように書き込みを行う手間を多くすることで、にせ情報の書き込みを防止し、評価数がある程度集まったところで正規評価として扱うことで、評価の精度を向上させることができる。

【0200】次に、ステップ406において、評価対象Noごとの評価の信頼度を表示する。この「信頼度」は、例えば、評価対象Noごとの評価の重積度を算出し、この算出値に応じて、一般化、ノマライゼーションの0~1.0の数値を割り付けしてあるマップを参照して、これを「信頼度」として表示したり、評価対象Noごとに、その下層からの重積度の総和を算出して「信頼度」として表示する。

【0201】なお、上記「評価の重積度」とは、評価数、役に立つとの投票数、又は、評価数や役に立つとの投票数によって決まる称号レベルをいう。また、この評価対象Noごとの評価の信頼度は、それぞれの評価Noで特定される評価のデータベースに記憶され、最終的には、評価の基点となるその評価対象の「信頼度」として表示される。

【0202】次に、ステップ407において、新たな評価の対象となった評価自体(店とか曲の作曲者)、又は新たな評価者の属性に所属する人々に、電子メール、FAX、電話等を用いて、新たな評価がなされたことを通知する。これにより、新たな評価を見た利用者が再度評価をするきっかけとなる。

【0203】ステップ408において、評価者へ報奨を伴うポイントを付与する。このポイントは、報奨を得ても消えないようにし、ポイントに応じてその報奨内容を変える。これにより、ポイントが消えないので、評価者は報奨を得ても再度訪れて評価する気になる。また、ポイントに応じて報奨内容が変わるので、再度訪れて評価する気持ちになる。

【0204】続いて、図5に示したように、ステップ409において、評価を見ている人(以下、閲覧者という)の要求に従って、その評価、あるいはその評価をした評価者等に関する種々の情報が表示される。このようにすると、その閲覧者にとっては、その評価をした人がどのような評価者であるかを確認することができるので、その評価の信憑性を判断することができる。一方、その評価者自身にとっては、自らの評価履歴を見て、「また評価しよう」というやる気を起こさせられるので、評価意欲を向上させることができる。

【0205】なお、閲覧者による表示要求は、ボタン、プルダウンメニュー等によって行うように構成されている。また、一覧表化された評価者のいずれか1人を選択して、その評価者に関する情報を表示するようにしても良い。さらに、上記「閲覧者」には、評価を見にきただけの人のほか、評価者自身も含まれる。

【0206】また、上記「評価者等に関する情報」としては、例えば、その評価者の過去の評価履歴、評価者ごとの過去の有効評価履歴、役に立つ／役に立たないの投票数、その評価者の過去の全評価数、有効評価数等が挙げられる。なお、上記「有効評価履歴」とは、役に立たないとの投票によって消されていない評価履歴をいい、「有効評価数」とは、役に立たないとの投票によって消されていない評価数をいう。

【0207】また、これらの情報の表示態様としては、それらの情報をそのまま表示しても良いし、表彰の態様で評価数上位の評価者あるいは有効評価数上位の評価者を表示しても良い。このように表彰の態様で表示することにより、評価意欲をさらに向上させることができる。また、上記評価者等に関する情報の一部を所定数選択し、これを見やすい上部から表示することにより、評価者等の一覧表が画面上でおさまリ、スクロールする必要がなくなる。

【0208】次に、ステップ410において、閲覧継続の要請がなされる。すなわち、アンケート中又は評価中であって、且つ、バックボタン、「お気に入り」、「ファイル」又は「×ボタン」にマウスポインタが近づいた場合には、アンケート又は評価を途中で辞めようとしていいると考えられるので、「アンケートやめないデー」といった任意の発言を発生したり、表示する。これにより、アンケート中又は評価中にくのがいやになったユーザーに対して、途中で辞めようとする行動を思いとどまらせて、できるだけ多くの人にアンケートしてもらうことができる。

【0209】ステップ411において、評価催促メールの送信がなされる。すなわち、新規に登録された評価対象（店）の所属属性の人に、その評価対象についての評価を催促するメールを打つ。これにより、新しい評価対象についても評価量を増やすことができるとともに、評価量の偏りをなくすることができる。また、その評価対象に興味のありそうな所属属性の人に絞って評価を催促するので、新しい評価が得られる確率が高くなるとともに、質の高い評価を得ることができる。さらに、属性の合わない無関心な人に迷惑メールを送って、脱会者が増えるような事態を防ぐこともできる。

【0210】ステップ412において、閲覧者の要求に従って、評価結果の優先表示がなされる。この評価結果の優先表示の態様としては、例えば、評価対象を（同一属性ごとに）、評価数の少ない順に、所定数見やすい上部から表示することができる。このように過去の評価数が少ない評価対象を評価すると、カリスマ評価者になりやすいので、評価意欲を向上させることができる。

【0211】また、評価対象を（同一属性ごとに）、評価数の多い順に、所定数見やすい上部から表示しても良い。このように見やすい位置に表示することにより、その評価対象に対する広告効果が発揮され、一方、その評

価対象においても、さらに多くの評価を得ようと努力する。さらに、評価対象を（同一属性ごとに）、評価数の多い順に、所定数見やすい上部から、表彰の態様で表示しても良い。このように見やすい位置に表示するとともに、表彰することで、より高い広告効果が得られ、このため、他の店も表彰されようと改善する。

【0212】なお、上記「表彰の態様」とは、1位から3位、もしくは6位程度までの表彰台の上に、評価対象が特定できる文言を付けたマーク、わく、人やペットの形を乗せるとか、1位から所定下位までの一覧表に、評価対象を特定できる文言を記載し、そのすぐ隣に金銀銅とか、ダイヤ、ルビー、サファイヤとかの王冠、指輪、ペンダント等をマーキングするようにしてもよい。もちろん、その表彰の根拠となる評価数の数値も記述するとよい。

【0213】また、評価結果の優先表示の態様としては、評価対象を（同一属性ごとに）、5段階評価の平均値の高い順に、所定数見やすい上部から表示しても良い。なお、5段階評価の平均値は、それぞれの評価対象ごとに小数点以下まで算出し、その少数点以下の値も考慮して順位をつける。このように5段階評価の平均値の高い順に見やすい位置に表示することにより、広告効果が発揮され、評価対象においても、さらに高い評価を得ようと努力する。

【0214】さらに、5段階評価の平均値の高い順に、所定数見やすい上部から表彰の態様で表示することもできる。このように見やすい位置に表示するとともに、表彰することで、より高い広告効果が得られるとともに、他の店も表彰されようと改善する。

【0215】これと反対に、評価対象を（同一属性ごとに）、5段階評価の平均値の低い順に、所定数見やすい上部から表示しても良い。このように見やすい位置に表示することにより、広告効果が得られるとともに、今後良い評価を得ようと店が努力する。

【0216】ステップ413において、Webマスタによる悪質な評価者及び評価対象の登録及び表示がなされる。すなわち、Webマスタによる評価文に対するキーワード検索によって、悪質評価者、悪質評価対象の登録がなされ、一覧表が作成される。これにより、悪質評価者による中傷誹謗等を排除することができ、また、うその情報を流す店や、やらずばったくり店を公表して、消費者の被害を最小限にすることができる。なお、上記「キーワード検索」とは、後述する評価受付部のフローチャート（図8のステップ813における自動検索で発見できなかった、所属属性ごとの禁止ワード（例えば、飲食店に対し「吐き気」等の言葉）をキーワードとして検索することをいう。

【0217】ステップ414において、閲覧者の要求に従い、属性別に書込数、5段階評価値、投票数等を、絵やグラフ、図形等によりビジュアル表示する。これによ

10

20

30

40

50

り、評価データがより分かりやすくなる。なお、この場合、属性とは男女別、年代別等である。

【0218】また、上記ビジュアル表示の例としては、レーダーチャート、棒グラフ等がある。また、属性別に、書込数、投票数等を所定の単位個数毎に1つのイメージで表示しても良い。例えば、1つのイスで表す単位個数を5個とした場合に、書込数が7個のときは、イスが1つと、2/5が色つきで、残りの3/5が色なしのイスで“7個”を表す。なお、この場合は、ヘルプ画面等に「イス1つが書込数5個分に相当する」ことを示す説明文を記載することが好ましい。

【0219】ステップ415において、店長、評価者等の属性イメージを表示する。店長のイメージ表示としては、例えば、その店が高級なバーで、店長の年齢が40代であれば、シルクハットにタキシードの黒ひげ、年齢が60代であれば、白ひげとするとか、その店がフランス料理店の場合には、コックの白い長帽子に白服というように、それぞれの特徴を端的に表現するイメージで表示する。この属性イメージは、店長や評価者が予め設定されているイメージリストから選択してもよいが、自分で作成したイメージデータをそのまま用いることもできる。また、イメージスキャナで取り込んだ自分の写真を用いてもよい。これにより、属性イメージの表現力の向上と容易化が図れる。

【0220】ステップ416において、閲覧者の要求に従い、時間に対する評価の推移とか、評価のネスト構造の時間に対する重積を表示する。すなわち、時間に対する評価の推移を表示する場合、評価対象に対する評価の変化を、縦軸に5段階評価値、横軸に経過時間をとることによって、経過時間ごとの評価の推移を表示することができる。この5段階評価値は、後述する移動平均値計算式である(数1)によって求めるようにしてもよい。このようにすると、例えば、新曲がでた場合の評価の変化が一目でわかるようにすることができる。なお、この5段階評価値は、評価者の属性に応じた評価値でも、曲のリズム感、悲壮性、楽しさ等の評価項目毎の評価値であってもよい。

【0221】また、評価のネスト構造の時間に対する重積を表示する場合、ある評価対象に対し、横軸を時間、もしくは評価順番とし、縦軸は評価総数とする。そして、ある評価に対して評価が複数なされた場合、そのある評価のなされた時刻、もしくは評価順番から、ある評価に対してなされた評価が発生した時点で、1つずつ同じ色でプロットして、縦軸の評価総数を増加させる。このようにすると、ある評価が、さらなる評価をたくさん誘発させた評価であるということが一目でわかるようになる。これにより評価信頼度の認識性の向上を図ることができる。

【0222】続いて、図6に示したように、ステップ417において、閲覧者の要求に従い、属性ごとの評価一

覧表の表示がなされる。すなわち、閲覧者が特定の属性の評価情報に絞った表示を希望する場合に、閲覧者がその属性を選択すると、その属性の評価者が行った評価のみが一覧表で表示される。ここで、「属性」とは、男女別、年齢、過去の購買商品、過去のオンラインショッピングの金額、オンラインショッピング額の平均値(移動平均)、購入する時間帯、特定雑誌の購買経験、自動車の保有の有無といった上記アンケートでピックアップした属性である。これにより、属性ごとの評価情報に絞って提供することができるので、利用者にとっては、その店の客層が誰で、どのような評価を得ているかがより分かりやすくなる。

【0223】ステップ418において、グループ化統計処理がなされる。すなわち、ある評価対象に対して同じ評価をした者をグループ化して、各種の統計処理を行うことにより、有用な評価データを得ることができる。この場合、グループ名称を「～店～評価Gr」と名付けることにより、そのグループの特性を容易に把握することができるようにすると、閲覧者にとって、ある評価者がどのグループに属するか、また、そのグループはどのような内容であるかが分かりやすくなる。

【0224】このようなグループ名称は、以下のようにして決定することが望ましい。すなわち、このグループの評価文章中のキーワードのうち、出現頻度が高い第1位と第2位のキーワードを組み合わせてグループ名称を決めるとか、評価対象の名称にこの第1位キーワードを組み合わせることによってネーミングする。例えば、「焼肉朝鮮飯店おいしいGr」のように名付け、名が態を表すようにすることにより、評価者のプロフィールを他の人が見て、どのGrに属するかが容易に分かると同時に、そのGrの内容も容易に分かるようにすることができる。

【0225】また、ある評価対象に対して同じ評価をした者のグループ化を図る、言い換えれば、同様の価値観を有する人々をグループ化することにより、このグループが、他の評価対象をどのように評価しているかを容易に知ることができる。また、このグループに対して新しい評価が入った場合に、その旨を知らせるメールを、このグループのメンバーに自動的に送ることが容易にできる(図4のステップ407参照)。これにより、再度の評価のきっかけとなる。

【0226】また、一般の閲覧者や、今後の営業方針を策定したい店長等の要求によって、定期的(例えば、3ヶ月ごと)に、それぞれの希望により複数の属性からグループを設定し、このグループ毎に各評価を統計処理してその結果を表示したり、宛先として報告先と挨拶文等の定型文を付属させてレポート形式で報知することもできる。なお、このような定型的な文を不要とする店長等には、そのままグラフ化したデータを添付して報知するようにしてもよい。ここで、「報知」とは、Eメール

ル、機械音声自動電話、FAX等、要求に応じて異なる態様で報知することができるものとする。

【0227】ステップ419において、評価コメントを評価対象へ通知する。これによりその評価対象は、通知された評価コメントに基づいて、その内容等を改善しようという意欲の向上を図ることができる。例えば、評価対象があるお店である場合には、評価コメントをその店の店長へ通知する。これにより、通知された評価コメントに基づいて、店のコンテンツ内容を改善しようという意欲の向上が図れる。

【0228】また、上記評価対象（店長等）への通知手段としては、電子メール、電話やFAX等が用いられる。この通知を電話で行う場合には、評価文を含んだテキスト、例えば、電話における定型的挨拶文を加え、評価文を読み上げ、またよろしくと結ぶようなテキストを読み上げて通知する。

【0229】なお、上記評価対象への通知は、その評価対象からの要求により、各属性毎に一覧表化して通知することもできる。すなわち、同じ属性の人には、同じ文面の通知文で良い場合が多いので、一覧表化することで、この属性の評価者には総合的にどのような文面にするのか把握しやすく、さらに同じ属性の評価者へ一括して返答できるようにしてもよい。

【0230】ステップ420において、評価対象（例えば、店長）からのサンクスメールを評価者等へ戻す。このサンクスメールは、FAX、電話、電子メール等を用いて評価者等に送られ、誤解の解消の手段として、また、再度その評価対象を購入したり、訪問してもらうためのアピール手段として機能する。

【0231】すなわち、評価対象は、その評価対象について評価した評価者等に対し、FAXや電話、電子メール等でこの評価に対してコメントする。なお、FAXの*

$$\text{加重平均値New} = \{(1-X) * \text{新しい評点} + X * \text{加重平均値Old}\}$$

$$X: 0 \sim 1, 0 \text{の加重平均値}$$

【0235】上式において、Xを小さく（軽く）すると、評価値である加重平均値は変わりやすく、大きく（重く）すると変わりにくくなる。そこで、例えば、ある評価対象（店）において新装開店がなされた場合には、新装開店後の評価の入力ごとに、Xを小さい値から徐々に元の重い値に変化するように設定することにより、新装直後の状態の評価が、これまでの過去の蓄積を無効化して正しい評価にすることができる。

【0236】また、評価対象に対する評価値の変更方法の他の例としては、これまでの5段階評価が悪かった場合、すなわち“3.0以下（平均以下）”であった場合には、その評価値を“3（平均）”にしたり、これまでの5段階評価が良かった場合（3.0以上）には、評価値をさらにプラス方向に上げるため、所定値上乗せしてもよい。

【0237】そして、ステップ426において、5段階

* 場合、OCRでいったんテキストデータに変換され、サーバーから電子メールで転送されるようにすることもできる。また、電話の場合には、自動音声テキスト変換により、電子メールに変換されて返信されるようにすることもできる。

【0232】また、ある評価対象からWebマスタに対して評価値の変更依頼があった場合には（ステップ421）、ステップ422において、Webマスタがその評価対象の評価値の変更を許可するか否かを判断し、許可する場合にはステップ423に進み、評価対象（の店長）自ら、過去の評価値を変更することができる。例えば、ある評価対象（の店長）からの通知により、Webマスタに店舗を新しくして良くなったことを理解してもらった場合には、Webマスタがその評価対象の評価値の変更を許可する。

【0233】一方、ステップ422において、Webマスタが評価値の変更を許可しない場合には、ステップ424に進み、評価対象になんらかの改善がなされたか否かが判断され、改善されたと判断された場合には、ステップ425に進み、後述するような方法で、その評価対象の評価値の変更がなされる。一方、なんら改善されていないと判断された場合には、評価値の変更はなされず、ステップ426に進み、その評価対象に対して改善要求メールを送る。

【0234】ここで、評価対象に対する評価値の変更方法について説明する。例えば、評価対象（の店長）が今までの評価結果を打ち消すことができるような新装開店を行ったと自己申告した場合、加重平均重みを軽くする。すなわち、図4のステップ405において説明した「5段階評価の平均値」とは加重平均であり、そのときの算出式は、次式の通りである。

【数1】

評価が所定値以下の評判の悪い評価対象には、改善要求メールを送る。これにより、その評価対象の改善しようという意識の向上が図れる。なお、この改善要求メールは、時間の経過と共にそのメール頻度を少なくするように設定することが望ましい。評判の悪い評価対象には改善要求メールをたくさん出して、できるだけ早く改善してもらうようにしつつも、敢えて改善しない評価対象にはこのようなメールはうるさいだけなので、メール頻度を落とす。また、この改善要求メールは、その評価対象の評価が3.0以上になったときには中止し、所定値以下になったときに開始するようにすることが望ましい。以上にて、属性評価部を終了してリターンする。

【0238】[2-2-4. 評価受付部における処理] このサブルーチンは、評価者がある評価対象に対して自らの評価を入力をしようとする場合に、評価入力スイッチ等を押すことで起動される。

【0239】図8に示したように、まず、ステップ801において、評価を入力しようとする評価者の識別コードIDを入力する。ステップ802において、そのIDより、その評価者がその評価対象に対して評価するのに適しているか否か、例えば、ある製品の購買等の評価者としての必要な経験があるか否かをウィンドウを開いて聞く。もし、評価をするのに適していなければ、その評価者は「評価できない」として、謝罪文を表示してリターンする。一方、評価をするのに適していると判断された場合には、ステップ803に進む。

【0240】ステップ803において、同一の評価者が所定回数以上繰り返し評価を行っているか否かをチェックする。具体的には、1つの評価対象に対し、同一IPアドレスのサイトからのアクセスか否かをチェックする。また、同じ電話もしくは携帯電話の番号か否かと、同じメールアドレスを所有しているか否かとかの方法でチェックすることもできる。ここで、所定回数以上繰り返して評価がなされているか否かを判断することとしたのは、評価内容を追加・変更するために2〜3回繰り返してアクセスする場合があるからである。

【0241】そして、同一の評価者が同一の評価対象に対して、所定回数以上、繰り返し評価を行っている場合には、ステップ804に進み、その繰り返し評価が正当なものであるか否かを判断する。これにより、単なるポイント稼ぎや、いわゆる“さくら”を排除することができる。評価の一般化を図ることができる。

【0242】すなわち、ステップ804において、繰り返し評価が正当なものであるか否かを判断するために、その繰り返し評価は所定期間を経て行われたものか否かを聞く。通常、2〜3回の情報追加が考えられるからである。そして、所定期間を経ている場合には、ステップ805に進み、繰り返し評価履歴をクリアし、ステップ806に進む。

【0243】一方、所定期間を経っていない場合には、ステップ807において、今回の評価が前回の評価の修正かどうかを聞き、修正でなければその繰り返し評価は単なるポイント稼ぎやいわゆる“さくら”の可能性が高いので、そのままりターンする。一方、今回の評価が前回の評価の修正であった場合には、ステップ808において、その修正回数が所定回数より多いか否かが判断され、所定回数未満の場合はステップ806へ進む。一方、修正回数が所定回数以上の場合は、その修正は認めないで、そのままりターンする。

【0244】次に、ステップ806において、同一評価対象に対する一定時間間隔の評価入力であるか否かが判断され、一定時間間隔の評価入力であると判断された場合には、ステップ809へ進む。このように一定時間間隔の評価入力であるか否かを判断することとした理由は、ある店が客を呼び込むために実際と異なるにせ情報を異なる電話、サイトから流す場合、通常、一定間隔ご

との評価をしがちであるからである。

【0245】続いて、ステップ809において、評価対象の評価頻度が所定回数以上であるか否かが判断され、所定回数以下の場合、この一定間隔毎の評価はハッカーによる意図的な情報操作によって偽情報を流しているのではないかという疑いから、何もしないでリターンする。一方、評価頻度が所定回数以上の場合、多少情報操作されても評価値は変化しないため、評価するのを認める。なお、上記「一定時間間隔」とは、ある評価が入力された後、次の評価が入力されるまでの間隔が、ちょうど電話をかけ直す間隔であるような場合をいう。

【0246】次に、ステップ810において、評価者の識別コードIDが、提携先サイトから情報提供されている購入経験者のID、あるいはそのサイトの機能を用いたことがある経験者のIDと同一か否かを判断する。同一でなければ、評価入力を受け付けずにリターンし、同一であれば、評価の入力を受け付けるためステップ811に移行する。なお、「識別コードID」とは、電子メールアドレス、電話番号、住所等でもよい。

【0247】続いて、ステップ811において、評価者が評価対象を選択すると、その評価対象を受け付ける。なお、この評価対象が「他の評価」自体であれば、その評価を閲覧した際に評価入力ボタンを押して、この評価入力ルーチンにジャンプしているので、評価対象は、自動的にその評価自体に選択される。一方、評価対象が人や物のときには、評価対象は、予め設定された評価対象の一覧表の中から、クリック操作等によって選択される。

【0248】また、ステップ812において、評価の入力希望があるか否かが判断され、評価の入力希望がない場合にはそのままりターンする。一方、入力希望がある場合には、ステップ813に移行し、評価の受け付けがなされる。

【0249】なお、ステップ813において評価を受け付ける際に、所定の禁止ワードを自動検索するように構成することが望ましい。すなわち、評価者による評価の態様が評価文である場合には、その評価文の中に入力禁止ワードが含まれているかどうかを検索し、含まれていることが検出された場合には、Webマスタに通知する、または、評価者に注意を与えるように構成されている。ここでは、一般的にいつて無礼であるとか、下ねたであるとかのキーワードを検出する。また、評価をする際に絶対使つてはいけない言葉、例えば「死ね」といったキーワードは入力を拒否し、さらに、レベル的に多少問題のありそうな言葉に対しては、注意を表示する等の措置を講ずる。

【0250】また、キーワード検索によって検出した評価文からその評価者をピックアップし、Webマスタに登録操作を行うことにより、中傷ユーザーの一覧表を作成して表示するように構成しても良い。さらに、キーワ

ード検索によって検出した評価文をピックアップし、Webマスタが登録操作をすることにより、問題となる評価対象の一覧表を作成して表示するように構成しても良い。以上でリターンする。

【0251】[2-2-5. 役に立たない評価処理部における処理] 図9に示したように、ステップ901において、他の評価者によってなされたある評価が、本発明に係る評価サイトHの利用者にとって役に立つものであるか否かを答えてもらうために、「役に立つ」又は「役に立たない」の投票を行う。そして、ステップ902において、「役に立たない」という票数が所定レベル以上であるか否かを判断し、所定レベル以上の場合はステップ903に進む。一方、「役に立たない」という票数が所定レベル未満の場合は、その評価は有効であると認められていることを意味するので、そのままリターンする。なお、上記「所定レベル」とは、予め設定された所定値又は所定割合をいう。

【0252】次に、ステップ903において、その評価に対して「役に立つ」という票もあるか否かが判断され、「役に立つ」という票もある場合にはステップ904に進み、Webマスタに通知してリターンする。これにより、複数の評価者によってなされた正当な評価を、評価対象側が意図的に削除させようともくろんだ場合であっても、「役に立たない」という票数が一定の期間に集中して行われている等の状況を判断することによって、Webマスタが見抜ける場合がある。

【0253】一方、ステップ903において、「役に立つ」という票がない場合には、ステップ905において、その評価を自動的に消去する。「役に立たない」という票のみであるので、掲載しておく価値がないと考えられるからである。このように、役に立たないとされた評価を自動的に消去することにより、Webマスタの工数を増加させることなく、適切な処理が行える。

【0254】[2-2-6. ランク付け部における処理] 図10に示したように、ステップ1001において、評価者をランク付けする。このランク付けの方法としては、まず、アンケートで得たその評価者のショッピング経験、所持品の数や質、評価経験等、所定の項目のそれぞれについてランク付けし、これらの平均値を求めて、その評価者の総合ランクを付ける。

【0255】例えば、ショッピング経験に基づくランク付けとしては、買った経験が10回以上、20回以上、30回以上…のように段階的数値でランク付けし、最高位は「スーパーショッパー」等とする。また、評価経験に基づくランク付けとしては、例えば、(評価数+有効評価数*2)/3といった数式に基づいて段階的数値でランク付けし、最高位は「カリスマ評価者」等とする。そして、総合ランクの最高位は「TV出演推奨評論家」等とし、評論家として、TV局などに名前を伏せて高精度にアンケートしたプロフィールとともに紹介したり、

TV局等からの出演依頼、対談依頼をプロモートする。

【0256】次に、ステップ1002において、ランク付けした評価者に対して、そのランクに応じたイラストを付与する。例えば、ランクが高いほど権威ある堂々としたイラストを付与する。これにより、その評価者の権威状態を一目で分かるようにすることができる。

【0257】ステップ1003において、閲覧者の要求により、評価者のランクに応じて、ランクの高い評価者の評価コメントを優先的に表示できるようにする。すなわち、通常は、評価コメントは、属性に応じたツリー構造として表示されているが、その場所に評価者ランク別表示のボタンを設け、閲覧者がそのボタンを押すと、評価者ランクに応じて、ランクの高い順に、見やすい上部にその評価者による評価コメントを表示するようにする。これにより、閲覧者は、ランクの高い評価者の評価コメントを容易に得ることができる。

【0258】ステップ1004において、評価者のランクに応じて、その評価者の得点付けの重みを設定する。すなわち、役に立つ/立たないの投票は通常1人1票であるが、評価者ランクの高い人に対しては、そのレベルに応じて1人に数票付与したり、5段階評価値の加重平均計算に当たっては、数人分の5段階評価値が入力されたように5ループさせて計算するようにフラグをセットする。これにより、ランクの高い評価者の評価を優遇することができる。

【0259】[2-2-7. 優先表示部における処理] 図11に示したように、ステップ1101において、ある評価を見る人(閲覧者)の指定する表示モードに応じて、各評価を種々の態様で表示し、続いて、ステップ1102において、その表示モードの表題に合致するものが所定値以上か否かが判断され、所定値以上の場合にはステップ1103に進み、その上位の所定数が、見やすい上部からもしくは指定により画面上に表示される。一方、所定値未満の場合にはそのままリターンする。あるいは、ステップ1102において、その表示モードの表題に合致するものが所定値以下か否かを判断し、所定値以下の場合にはステップ1103に進み、その上位の所定数を、見やすい上部からもしくは指定により画面上に表示するようにしても良い。

【0260】すなわち、通常の評価を見る画面上に各表示モードのボタンをおき、このボタンがクリックされると、各表示モードのチェックボタンが表示され、表示モードをチェックして選択できるようにする。また、ある評価に限定せず、評価全体もしくはあるジャンルに対して、同様の態様で表示できるようにすることもできる。

【0261】例えば、閲覧者が、「この評価を役に立っている人とはどの程度か」という観点から表示したいと考えている場合には、ステップ1102において、ある評価対象(評価自体、評価全体、特定ジャンル、人や物等)と、その評価対象より下層の評価の内、「役に

立つ」という投票数の総和が、所定値C以上であるか否かが判断され、所定値C以上である場合には、ステップ1103において、その評価対象より下層のツリー構造を構成する評価のそれぞれを、それぞれの「役に立つ」という投票が多い順に、見やすい上部から、もしくは指定により画面上に表示する。一方、所定値C未満の場合には、そのままりターンする。これにより、閲覧者は、信頼度の高い評価を容易にピックアップすることができる。

【0262】また、閲覧者が、「この評価を役に立たない」と考えている人はどの程度か」という観点から表示したいと考えている場合には、同様にステップ1102において、ある評価対象と、その評価対象より下層の評価の内、「役に立たない」という投票数の総和が、所定値C以上であるか否かが判断され、所定値C以上である場合には、ステップ1103において、その評価対象より下層のツリー構造を構成する評価のそれぞれを、それぞれの「役に立たない」という投票が多い順に、見やすい上部から、もしくは指定により画面上に表示する。一方、所定値C未満の場合には、そのままりターンする。これにより、閲覧者は、どの評価がガセネタであるかが容易に分かる。

【0263】また、閲覧者が、評価数（評価コメント数、5段階評価数、役に立つ／立たないの投票数を含む）の多い評価対象は何かという観点から表示したいと考えている場合には、同様にステップ1102において、ある評価対象と、その評価対象より下層の評価の書き込み数の総和が、所定値C以上であるか否かが判断され、所定値C以上である場合には、ステップ1103において、その評価対象より下層のツリー構造を構成する評価のそれぞれを、それぞれの書き込み数の多い順に、見やすい上部から、もしくは指定により画面上に表示する。一方、所定値D未満の場合には、そのままりターンする。これにより、評価数が多い場合には、閲覧者自ら、どの評価がガセネタであるかを容易に判断することができる。

【0264】さらに、閲覧者が、「書き込み数の少ないのはどの評価対象か」という観点から表示したいと考えている場合には、ステップ1102において、ある評価対象と、その評価対象より下層の評価の書き込み数の総和が、所定値E以下であるか否かが判断され、所定値E以下である場合には、ステップ1103において、その評価対象より下層のツリー構造を構成する評価のそれぞれを、それぞれの書き込み数の少ない順に、見やすい上部から、もしくは指定により画面上に表示する。一方、所定値Eより多い場合には、そのままりターンする。これにより、評価数の少ない、言い換えれば、その評価対象に対して評価すれば、カリスマ評価者の称号を得やすい評価対象を容易に選択することができる。

【0265】〔2-2-8. 総合評価部における処理〕

図12に示したように、ステップ1201において、予めWebマスタによって、各評価対象について総合評価値を求める評価方法として、評価対象ごとの評価項目ごとに、一般的であろうと思える総合評価値を得るために、0～1.0の重み付け数値、あるいは所定の関数を設定（入力）する。ステップ1202においては、閲覧者が自らの価値観に従って、評価対象ごとの評価項目ごとに、自らが興味のある評価項目を他と区別するために、0～1.0の重み付け数値、あるいは所定の関数を設定（入力）する。例えば、閲覧者が、中華料理が好きで、特に餃子が好きな人の場合には、その皮、たれ、具ごとに評価項目が設けられ、それらの各項目ごとに、重み数値（0～1.0）あるいは所定の関数を設定することができるように構成されている。

【0266】なお、ここでは更に、評価項目ごとの5段階評価値のチェックボックスをチェックするように構成されている。即ち、例えば、餃子の皮について、非常に良いが1.0、やや良いが0.7、普通が0.5、やや悪いが0.3、まったくだめが0のように設定しておけば、評価者は評価しやすいし、評価者ごとの評価のばらつきも少なくなる。又、評価を見る評価の利用者にとっても数値と良い悪いの相対関係がわかりやすいのでこのようにした方が好ましい。

【0267】そして、ステップ1203において、閲覧者が設定した重み付け数値あるいは所定の関数と、ステップ1201においてWebマスタが予め設定した評価方法に基づいて、閲覧者が所望する評価対象を検索し、その検索結果を表示する。なお、この場合、各評価対象について、関数や重み付け数値の設定バリエーションごとに評価ジャンルを設け、例えば、ラーメンにおける「スープ重視派」、「麺重視派」といった分けけをしても良い。これにより、そのジャンルごとの評価のみを表示することができる。

【0268】ここで、上記ステップ1201においてWebマスタによって予め設定される各評価対象について総合評価値を求める評価方法について説明する。すなわち、この評価方法の第1例（Case1）としては、例えば、評価項目毎に設定した数値s（0～1.0）*その評価値h（大変良い1.0、良い0.75、普通0.5、悪い0.25、大変悪い0）の総和を算出する方法がある。これにより、評価項目が複数あっても、評価結果を“1.0”のような数値で表すことにより、感覚的に評価がわかりやすくなり、評価自体の相対評価ができる。

【0269】例えば、中華料理店の場合、

店員の態度（s*h）=0*1

ニラレバ=0.2*0.5

酢豚=0.2*0.5

餃子=0.6*1.0

とし、総和=0*1+0.2*0.5+0.2*0.5

10

20

30

40

50

+0.6*1.0=0.8のように、閲覧者の指定した、評価対象、評価対象グループ、評価対象ジャンルの全ての評価対象について、評価値の総和を算出する。

【0270】従って、ある人が餃子を食べたいと思ったとき、餃子のうまい中華料理店を調べるに当たって、ステップ1202において、餃子についての数値sを“1”とし、その他を“0”と設定すれば、“餃子”以外の項目は“0”となるので、ステップ1203において、中華料理店の中から餃子のおいしい店をピックアップすることができる。

【0271】また、上記評価方法の第2例(Case 2)としては、例えば、各評価グループ毎に評価項目毎数値(0~1.0)*その評価値(大変良い1.0、良い0.75、普通0.5、悪い0.25、大変悪い0)の総和1を計算し、さらに各評価グループ毎数値(0~1.0)*その評価グループの総和1の総和を計算する方法がある。これにより、グループごとの評価ができる。

【0272】例えば、ある中華料理店の場合、

(a) 店員態度グループの総和1:清潔感(s0.1*h0.5)+言葉使い(s0.2*h0.5)+食器の置き方(s0.7*h1)=0.85

(b) ニラレバグループの総和1:にら焼きかげん(s0.5*h0.5)+レバー揚げかげん(s0.5*h0.5)+塩かげん(s0.5*h0.5)=0.75

(c) 酢豚グループの総和1:たれ(s1.0*h0.5)+じゃがいも(s1.0*h0.5)+たけのこ(s0.2*h0)+たまねぎ(s0.5*h1.0)+肉(s1.0*h1.0)=2.5

(d) 餃子グループの総和1:皮(s1.0*h0.25)+たれ(s0*h0)+具(s1.0*h1.0)=1.25

とし、酢豚と餃子とを主に食べる場合、総和=態度グループ:s0*0.85+ニラレバグループ:s0.5*h0.75+酢豚グループ:s1*h2.5+餃子グループ:s1*h1.25=4.125の総合評価の中華料理店ということになる。

【0273】従って、ある人が皮のうまい餃子を食べたいと思ったとき、皮のうまい餃子の中華料理店を調べるに当たって、ステップ1202において、餃子の皮の数値sを“1”とし、その他を“0”と設定すれば、ステップ1203において、うまい皮の餃子店をピックアップすることができる。

【0274】さらに、上記評価方法の第3例(Case 3)としては、各評価グループ毎に評価項目毎数値(0~1.0)*その評価値(大変良い1.0、良い0.75、普通0.5、悪い0.25、大変悪い0)の関数Aの一部を計算し、さらに各評価グループ毎数値(0~1.0)*その評価グループの関数Aを算出する方法がある。

【0275】例えば、ある中華料理店の場合、

(a) 店員態度グループ:X=清潔感(s0.1*h0.5)*言葉使い(s0*h0.5)*食器の置き方(s0.7*h1)=0とし、店員の態度が少しでもおかしい場合には“0”になるようにする。

(b) ニラレバグループ:Y=にら焼きかげん(s0.5*h0.5)+レバー揚げかげん(s0.5*h0.5)+塩かげん(s0.5*h0.5)=0.75

(c) 酢豚グループ:Z=たれ(s1.0*h0.5)+じゃがいも(s1.0*h0.5)+たけのこ(s0.2*h0)+たまねぎ(s0.5*h1.0)+肉(s1.0*h1.0)=2.5

(d) 餃子グループの総和1:G=皮(s1.0*h0.25)+たれ(s0*h0)+具(s1.0*h1.0)=1.25

とし、関数A=X*(Y*s0.1+Z*s1.0)*(G*s1.0)*(G*s1.0)に上記の数値を代入すると、関数A=0となり、ステップ1203において、餃子や酢豚はおいしくても、店員の態度の悪い店は選択されないようにすることができる。

【0276】上記ステップ1203において、閲覧者が所望する評価対象を検索し、その検索結果が表示されると、ステップ1204において、その検索結果がその閲覧者にとって満足できるものであるか否かが判断され、満足できるものであれば、そのままリターンする。一方、満足できない場合にはステップ1205に進み、閲覧者によって重み付け数値又は関数の修正がなされ、その修正内容が掲示板に表示される(ステップ1206)。

【0277】続いて、ステップ1207において、この修正に対する賛否の投票がなされ、ステップ1208において、その修正に賛成する投票数が所定値以上であるか否かが判断される。そして、その修正に賛成する投票数が所定値未満の場合には、その修正を認める人が少ない、言い換えれば、従前の評価方法で良いので、そのままリターンする。

【0278】一方、その修正に賛成する投票数が所定値以上の場合には、ステップ1209に進み、「Webマスタが予め設定していた評価方法は適切ではなく、修正することが適当である」旨がWebマスタに通知され、ステップ1210において、Webマスタによって評価方法が変更され、リターンする。これにより、各評価対象について総合評価値を求める評価方法の一般形を、投票によって決定することができるので、個人の嗜好に偏らない、一般的な関数、重み付け数値に設定することが可能となる。

【0279】[2-2-9. 通知処理部における処理]
図13に示したように、ステップ1301において、新しい評価の入力がある否かを判断し、新しい評価の入力がない場合には、ステップ1302に進み、すでになさ

れている評価に対してその評価対象からの応答（リターン）内容を評価者に通知すると共に、対話掲示板等へ表示する。

【0280】なお、上記評価対象からの応答は、FAX、電話又は電子メール等を用いて行われ、また、上記対話掲示板への表示は、匿名性を保持するためそれぞれの識別コードを用いて行われる。さらに、上記対話掲示板においては、評価対象からの掲示内容の変更は受け付けが、その他の変更は行われないように構成されている。その理由は、評価対象の店長には、その評価に対し弁明の機会を与え、1度弁明したあとでも、思い直して書き換えられるようにするのが好ましいからである。また、他の人が、店長の弁明を勝手に書き換えるのは好ましくないし、他の人が評価を書き換えるのも好ましくないからである。また、その評価をした人が自ら評価を書き換えるのは問題ないが、店長の弁明がついているような場合、話がつかなくなり、一般的に店長の弁明で問答は終了するので、店長のみ変更可能としたものである。また、各評価対象は、電子メール等による評価者への応答以外に、この対話掲示板に直接書き込むこともできる。

【0281】ここで、「対話掲示板」とは、ある評価対象についての通常の評価を表示する態様として、時系列（古い順）、逆時系列（新しい順）、評価数の多い順、少ない順、5段階評価の高い順、低い順等を列挙したチェックボックスの態様の1つに、「評価対象と評価者との対話モード」を設け、この対話モードが選択されたときに、通常の評価表示モードに変えて表示されるものである。

【0282】続いて、ステップ1303において、閲覧者からの質問の受付がなされる。例えば、対話掲示板を表示する画面中に設けられた質問BOXボタンが押された場合に、Q&A掲示板用の質問事項書き込みボードを表示して、この書き込みボードに質問事項を書き込んでもらい、記憶する。そして、閲覧者からの要求により、Q&A掲示板を表示し、この質問内容をQ&A掲示板に表示する（ステップ1304）。

【0283】ステップ1305においては、対話掲示板又はQ&A掲示板において、各評価対象の代表者（店長等）、質問者、回答者のコメントの側に設けられた「役に立つボタン」が押された場合、それぞれのコメントについて投票結果をカウントし、それぞれのコメントの近傍に表示する。これにより、どのコメントが信頼に値するかが容易に分かるようになる。

【0284】ステップ1306において、Q&A掲示板の表示中に、このQを見て回答できる人が、そのコメント自体をクリックする等して要求すると、Q&A掲示板用の回答用書き込みボードを表示して、この書き込みボードに書き込んでもらい、記憶する。

【0285】ステップ1307において、Q&AのAの

書き込みが終了した場合、システムは経験（購入、予約、利用の体験）があるか否かを回答者に質問し、経験ありの場合には、その回答者は評価者として適正であると判断して、その回答者に対して新しい評価の依頼を行う（ステップ1308）。そして、新しい評価をしても良いとの回答があった場合には評価入力用ボードを表示して、この評価入力ボードに評価を書き込んでもらう。一方、その回答者は評価者として不適当であると判断された場合には、何もせずにリターンする。

【0286】一方、ステップ1301において、新しい評価の入力がある場合には、ステップ1309に進み、新しい評価をFAX、電話又は電子メール等によって評価対象に通知し、ステップ1310において、新しい評価を公開の掲示板に表示する。そして、ステップ1311において、その評価対象からの応答（リターン）があったか否かが判断され、評価対象からの応答があった場合にはステップ1302に進み、ステップ1308まで上述したような通常の処理が継続される。一方、ステップ1311において、評価対象からの応答がなかった場合には、そのままリターンする。

【0287】なお、ステップ1309～ステップ1311は、通常の処理の途中で新しい評価の入力がなされるたびに起動される。すなわち、新しい評価が入力されるとその内容が直ちに評価対象に通知されるように構成されている。

【0288】このように、新しい評価がなされた場合には、その内容が直ちに評価対象に通知されると共に、掲示板に表示されるので、仮に、その新しい評価が不当な評価であったとしても、その誤解を解決するための評価対象からの応答も公開の場で行え、利用者に両者のやり取りをすべて把握してもらえるため、評価対象のダメージを少なくすることができる。

【0289】また、評価ごとに設けられた対話掲示板への表示やその評価者に直接リターンする等によって、評価対象（店長等）からその評価に対するコメントをリターンするようにすることにより、誤解の解決の場を提供することができる。なお、このリターンの方法としては、評価対象からE-mail等を用いてリターンしても良く、この場合、その評価者に確実に見てもらうことができるようになる。さらに、評価者と評価対象との間で質疑応答を繰り返すことによって、この質問のレベルより更に深い知識を得られるようにすることができる。

【0290】[2-2-10. 属性一致時処理部における処理] 図14に示したように、ステップ1401において、ワーキングラム（以後、wkと言う）nに、ある属性に属する会員数を入れる。ステップ1402において、n=0であるか否かが判断され、n=0であればそのまま終了し、nが0でなければステップ1403に進み、wkのiに別の属性に属する会員数を入れる。

【0291】ステップ1404において、i=0である

か否かが判断され、 $i = 0$ であればステップ1414へ進み、0でなければステップ1405へ進む。ステップ1405において、ある属性（例えば、特定音楽ジャンル）について、ナンバー*i*さんのお好みの相手を指定した属性項目ごとにナンバー*n*さんが該当しているのかを判断するために、ナンバー*n*さんの指定する属性項目ごとに設定された相手に求める属性数値度合いを、ナンバー*i*さんの属性項目ごとに設定された自分の属性数値度合いに乗算して、属性項目全てについてのこの乗算値の和を算出する関数 $G1[i](n)$ を $z1[i]$ に10 入力する。この $G1[i](n)$ の算出値が大きい程、属性の属し度合いが高いといえる。これにより、気の合いそうな人を自分で選択することができる。

【0292】また、ステップ1406において、S1405とは別の属性（例えば、アウトドア）について、ナンバー*i*さんのお好みの相手を指定した属性項目ごとにナンバー*n*さんが該当しているのかを判断するために、ステップ1405と同様に、ナンバー*n*さんの指定する属性項目ごとに設定された相手に求める属性数値度合いを、ナンバー*i*さんの属性項目ごとに設定された自分の属性数値度合いに乗算して、属性項目全てについてのこの乗算値の和を算出する関数 $G2[i](n)$ を $z2[i]$ 20 に入力する。

【0293】ここで、 $G1[i](n)$ と $G2[i](n)$ とは、前者が例えば、特定音楽ジャンルについての属し度合いを表し、後者がアウトドアについての属し度合いを表す。このように属し度合いは複数設定することができる。これにより、～派ごとの区分け毎に、紹介された人の付き合いを変えることができる。

【0294】次に、ステップ1407において、 i さんと*n*さんの取り合わせが初回であるか否かが判断され、初回の場合、すなわち $TT[i][n] = 0$ の場合はステップ1409に進む。一方、 i さんと*n*さんの取り合わせは初回でないが、 n さんにとって*i*さんとの接触を好まないとき、すなわち $TT[i][n] = 1$ の場合はステップ1408へ進み、 n さん専用の掲示板1及び掲示板2から*i*さんに関する書き込み内容を消去し、ステップ1413へ進む。

【0295】また、 n さんにとって*i*さんとの接触を希望する、すなわち、 $TT[i][n] = 2$ の場合は、ステップ1409へ進む。これにより、姿形、プロフィール等の関連情報を見て接触の可否を選択し、両者が“可”の場合に、互いの連絡先を提示するので、相手の外見、環境的要因を含めて選択することができる。なお、この $TT[i][n]$ は、 n さんが掲示板1、2を見て*i*さんと接触するかどうかを選択すると、上記数値が入力されるように構成されている。

【0296】続いて、ステップ1409、ステップ1410において、 i さん、 n さんのそれぞれが通知を希望しているか否かが判断され、 i さん、 n さんの少なくと

もいずれかの通知希望がない場合にはステップ1413へ進み、 i さん、 n さんの双方が通知を希望している場合には、ステップ1411へ進む。これにより、通知されることを好まない人にも対応することができる。

【0297】ステップ1411においては、ステップ1406で入力した $z1[i]$ が所定値*A*より大きい、すなわち、属性の属し度合いが一定水準を越える場合、この属し度合いが大きい順に並べられた配列 $z1[n]$ に並び替えられて記憶される。同様に、他の属性についても、ステップ1407で入力した $z2[i]$ が所定値*B*より大きい、すなわち、属性の属し度合いが一定水準を越える場合、この属し度合いが大きい順に並べられた配列 $z2[n]$ に並び替えられて記憶される（ステップ1412）。

【0298】続いて、ステップ1413において、 wk の*i*が-1され（デクリメント）、ステップ1404に戻る。そして、ステップ1404において $i = 0$ でなければ、全会員の属性の一致チェックを行うためにステップ1405以降を繰り返し、 $i = 0$ であればステップ1414へ進む。

【0299】ステップ1414においては、 n さんの専用掲示板の掲示板1へ、属性1の属し度合いの大きい順、すなわち、 $z1[n][]$ に記載されたナンバーの人から順番に、 i さんに関連したEメールアドレスを含む関連情報を見やすい順に表示する。また、同様に、ステップ1415においては、 n さんの専用掲示板の掲示板2へ、属性2の属し度合いの大きい順、すなわち、 $z2[n][]$ に記載されたナンバーの人から順番に、 i さんに関連したEメールアドレスを含む関連情報を見やすい順に表示する。これにより、利用者の関連情報を通知でき、また、気の合いそうな仲間であっても最初はメールから始めることができる。

【0300】続いて、ステップ1416において、他の人についても属性の一致チェックを行うため、 n が-1され（デクリメント）、ステップ1402に戻る。そして、ステップ1402において $n = 0$ でなければ、全会員の属性の一致チェックを行うためにステップ1403以降を繰り返し、 $n = 0$ となった場合に、全員の属性一致の検討が終了したとしてリターンする。

【0301】[2-2-11. ゲーム付加部における処理] 図15に示したように、ステップ1501において、0～1までの乱数と、0～1までの数値で表される評価書き込み数、又は評価者としてのレベルを表す評価レベル（上記アンケート部におけるアンケート処理で、その評価対象分野における購入経験や評価等が、「役に立つ」という投票によって所定値以上であるとした評価レベル）、又はこれらの関数の*F*（評価書き込み数、又は評価者としてのレベルを表す評価レベル）とを比較して、乱数の方が大きいか否かが判断され、乱数の方が大きい場合には、ステップ1502に進み、 $f1ag$ 当り

10

20

30

40

50

に0を入れる。一方、乱数の方が小さい場合には、ステップ1503に進み、flag当りに1を入れ、後で使用する。

【0302】ステップ1504において、所定値1（もっともインセンティブ多い）>所定値2>所定値3（もっともインセンティブ少ない）に設定し、ステップ1505において、0～1までの数値で表される評価書き込み数又は評価者としてのレベルを表す評価レベル、又はこれらの関数のFと上記所定値とを比較し、評価書き込み数又は評価レベルが、所定値3より大で、且つ所定値2以下の場合、すなわち、評価実績が少しある場合には、ステップ1506～ステップ1509で、ゲームのビンゴを行う。

【0303】なお、所定値1>所定値2>所定値3に設定するのは、“大・中・小”といったニュアンスで人間があいまいに決める。例えば、ゲームによって付与されるインセンティブのレベルと、評価してもらったワークのバランスによって決める。

【0304】また、評価書き込み数又は評価レベルが、所定値2より大で、且つ所定値1以下の場合、すなわち、評価実績が中程度の場合には、ステップ1510～ステップ1513で、ゲームのスリー7（スロットマシン）を行う。さらに、所定値1より大の場合、すなわち、評価実績がかなりある場合には、ステップ1514～ステップ1518で、ゲームのルーレットを行う。

【0305】（ビンゴ）上記ゲームのビンゴは、開始してから所定複数回の間、flag当りが固定されるものとする。そして書き込みやアンケートに答えるごとに縦と横のマスが複数設定され、そのマスの座標が参照されて、その座標のマスにマークを付けるものであり、縦、横、ななめにのマスに同じマークが並んで表示されると“当り”となり、この並んで表示される組数が多いと得点が増えるものである。

【0306】すなわち、ステップ1506において、先ほど設定したflag当りが0か否かが判断され、0の場合、ステップ1507で“ビンゴ・はずれ”として、そのはずれの態様となるように、マスの中にマークが表示される。一方、ステップ1506において、flag当りが1の場合、ステップ1508で“ビンゴ・当り”として、その当りの態様となるように、マスの中にマークが表示され、ステップ1509において、ポイントとしてポイントレベル1（例えば、1ポイント1円の商品割引券の1000円分）が付与される。なお、このビンゴの当りの態様は複数あり、並んで表示される組の数とポイントレベル2の乗算値がポイントに付与される。

【0307】（スリー7）ステップ1510において、先ほど設定したflag当りが0か否かが判断され、0の場合、ステップ1511において“スリー7・外れ”の態様で表示される。一方、ステップ1510において、flag当りが1の場合、ステップ1512におい

て、“スリー7・当たり”の態様で表示され、ステップ1513でポイントとしてポイントレベル2（例えば、1ポイント1円の商品割引券の1000円分）が付与される。

【0308】（ルーレット）ステップ1514において、 $m = \{F \text{（評価書き込み数等（上記同様のバリエーション））} - \text{乱数}\} \% 256$ で、 m は1～256までの数値として算出される。ステップ1515において、配列であるルーレット当り〔賭け位置〕 $[m]$ に格納された0か1の数値が読み出される。この〔賭け位置〕は、このゲームの遊戯者が指定したルーレットにおける位置であり、場所によってあたる確率が異なる。評価の実績が多ければあたりやすくなる。

【0309】そして、〔賭け位置〕 $[m] = 0$ の場合、ステップ1516において、はずれの態様が表示される。一方、〔賭け位置〕 $[m] = 1$ の場合、ステップ1517において、当りの態様が表示され、ステップ1518において、ポイントとしてポイントレベル3（例えば、1ポイント1円の商品割引券の10000円分）が付与される。このポイントレベル3は、賭け位置によって異なる数値となる。

【0310】なお、このゲーム付加部のルーチンは、評価書き込み時だけでなく、アンケート回答時に実行するようにしてもよいし、アンケート途中の一文、一項目ごとの書き込みが終了するたびに実行するようにしてもよい。また、付加するゲームの種類は、上記ビンゴ、スリー7、ルーレットに限定されるものではないことは言うまでもない。

【0311】〔2-2-12. モバイル機器処理部における処理〕図16に示したように、ステップ1601において、会員登録がされているモバイル機器の利用者からの要求に応じてキーワード検索を実行し、そのキーワードに関連する1以上のジャンルあるいは評価対象をリストアップする。なお、上記モバイル機器とは、携帯電話、PHS、モバイルPC等をいうものとする。

【0312】ステップ1602において、上記キーワード検索によってリストアップしたジャンルリスト、または、ツリー構造化したジャンルリストの一部を、利用者の要求に応じて、その利用者のモバイル機器にダウンロードする。ここで、「要求に応じて」とは、その利用者がダウンロードしたい内容が、キーワード検索を行った結果リストなのか、ツリー構造化したリストの一部なのかを指定し、それに応じての意味である。

【0313】ステップ1603においては、上記ダウンロードしたジャンルリストの中から利用者によって選択されたあるジャンルを、携帯電話等からの番号（この番号とリストナンバーは一致している）により受け付ける。なお、ジャンルリストの中からの指定は、番号以外に音声によりしてもよい。

【0314】ステップ1604において、利用者の要求

に応じて、評価対象リストをその利用者のモバイル機器にダウンロードする。ここで、前記「要求」とは、ステップ1603で受け取った番号から指定されるジャンルから、評価対象リストであるとか、特定評価対象集団を指定することをいう。

【0315】すなわち、「要求に応じて」とは、ツリー構造の大枝のより範囲の広いジャンル（例えば、料理屋等）、中枝の中間的な領域のジャンル（例えば、中華料理店等）、小枝の餃子であるとかの指定のほか、さらに、位置情報としても、大枝の東京、中枝の港区、小枝の東麻布町等といった指定であり、ステップ1603で「餃子ジャンル」と「東麻布町」を複合して指定すると、ステップ1604において、モバイルの利用者には、その者が希望する「東麻布にある餃子を売っている店」のリストがダウンロードされる。なお、上記ジャンルリストとは、場所リストが含まれた50音索引（アルファベット索引）リストである。これにより、その街にある特定の店の情報を得ることができる。

【0316】ステップ1605において、上記ダウンロードした評価対象リストの中から利用者によって選択されたある評価対象を受け付ける。なお、この受け付けは、ステップ1603と同様に、携帯電話からの番号の認識、又は音声の認識によって行う。このように、評価対象のジャンルリストを評価サイトから得て、このジャンルリストの中から選択した所望のジャンルを評価サイトに返し、さらに、その選択ジャンルに含まれる評価対象リストを得て、その評価対象リストの中から所望の評価対象をモバイル通信機器を用いて選定することができるので、評価対象の選定が短時間でできる。

【0317】続いて、ステップ1606において、利用者の指定モードが、評価情報（口こみ情報）を与えるダウンロードモードか、評価情報（口こみ情報）を受け付けるアップロードモードかを判断し、ダウンロードモードの場合には、ステップ1607において、指定評価対象の評価情報（口こみ情報）をダウンロードする。このダウンロードの形式としては、Eメールを用いるとよい。また、評価情報（口こみ情報）としては、利用者からの指示により、段階評価値、音声によるコメント、あるいは文章化したコメント、評価数などがある。

【0318】一方、アップロードモードの場合には、ステップ1608において、指定評価対象についてアップロードされた評価情報（口こみ情報）を受け取って記憶する。この評価情報（口こみ情報）とは、利用者からの指示により、段階評価値、音声によるコメント、文章によるコメント等がある。段階評価値はダイヤルナンバーの指定により行うか、音声を認識して行う。他に音声によるコメントとは、音声をそのまま記憶してもよいし、音声を認識して文章化してもよい。文章によるコメントとは、携帯電話からのEメールである。

【0319】続いて、ステップ1609において、情報

入力者へ、評価してもらったことの御礼に、情報入力者の指定する（あらかじめ登録されている）銀行口座へ、キャッシュを振り込む処置とか、評価者評価対象と情報入力者を指定したとき、店の人が確認できる形（インターネットに接続したパソコンとか、携帯電話、専用電話等）で表示あるいは音声により、割引額を提示できるようにする。

【0320】[3. 他の実施形態] 本発明は、上述した実施形態に限定されるものではなく、請求項1に記載したように、コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置に、利用者の属性を収集する属性収集部と、利用者がある評価対象に対して評価を入力する際に起動される評価受付部と、属性収集部による収集データに基づいて利用者の属性を分類し、その属性に応じた評価を受け付け、これらの評価を利用者の指示に従って表示する属性評価部とを設けても良い。

【0321】また、請求項68に記載したように、コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置に、各評価に関して、その評価が利用者にとって役に立つか否かを尋ね、役に立たないとの回答が所定レベル以上であることにより役に立たないとされた場合に、その評価を検出し、その後、Webマスタに通知する、又は、その評価を自動的に削除する処理を行う役に立たない評価処理部を設けても良い。

【0322】また、請求項70に記載したように、コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置に、その評価についての1つもしくは複数の優先表示条件のうち、利用者の選択指示に従って、特定の評価を優先的に表示する優先表示部を設けても良い。

【0323】また、請求項73に記載したように、コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置に、ランク付けに関する所定の場合分けロジックに従って、評価者としてのレベルをランク付けするランク付け部を設けても良い。

【0324】また、請求項81に記載したように、コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置に、利用者の属性を収集する属性収集部と、その評価を読む複数の利用者について、前記属性収集部によって得た互いの属性が一致するか否かを判断し、同じ属性の利用者について所定の処理を行う属性一致時処理部を設けても良い。

【0325】また、請求項89に記載したように、コン

ピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置に、評価の入力がなされた評価対象にその評価を通知し、必要に応じてその評価に対するコメントを受け付けた後、所定の処理を行う通知処理部を設けても良い。

【0326】また、請求項97に記載したように、コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置に、各評価対象に関する各評価項目ごとに所定の重み付けおよび関数の少なくとも一方を設定して、各評価対象について総合評価値を算出する総合評価部を設けても良い。

【0327】また、請求項104に記載したように、コンピュータネットワークを通じて1つまたは複数の評価対象に対してなされた評価を収集すると共に、収集された評価を利用者に公開する評価装置に、利用者の属性を収集する属性収集部と、評価書き込みまたは前記属性収集部の属性を収集するためのアンケート記入に対してゲームを提供するゲーム付加部を設けても良い。

【0328】また、全体を通して、将来のインフラ容量の増大に伴い、インターネット上を音声や映像がストレスなく伝送できるようになる。そこで、本発明においては、電子メール、掲示板、コメントとは、文字情報に限定するものではなく、音声及び映像の少なくとも一方で構成される情報であってもよい。更にまた、電子メール、掲示板等への書き込みは、キーボードによる入力には限定するものではなく、音声認識によって入力するようにしてもよい。

【0329】

【発明の効果】以上述べたように、本発明によれば、評価を行った者、評価自体、評価対象の利用者等の属性に応じた高精度の評価データを収集し、提供することができる評価装置及び評価方法並びに評価用ソフトウェアを記録した記録媒体を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る属性に応じた評価装置の一実施形態の構成を示す機能ブロック図

【図2】評価サイトのメインルーチンの処理手順を示すフローチャート

【図3】属性収集部における処理手順を示すフローチャート

【図4】属性評価部における処理手順の上段部を示すフローチャート

【図5】属性評価部における処理手順の中段部を示すフローチャート

【図6】属性評価部における処理手順の下段部を示すフ

ローチャート

【図7】属性分類ルーチンにおける処理手順を示すフローチャート

【図8】評価受付部における処理手順を示すフローチャート

【図9】役に立たない評価処理部における処理手順を示すフローチャート

【図10】ランク付け部における処理手順を示すフローチャート

10 【図11】優先表示部における処理手順を示すフローチャート

【図12】総合評価部における処理手順を示すフローチャート

【図13】通知処理部における処理手順を示すフローチャート

【図14】属性一致時処理部における処理手順を示すフローチャート

【図15】ゲーム付加部における処理手順を示すフローチャート

20 【図16】モバイル機器処理部における処理手順を示すフローチャート

【符号の説明】

H…評価サイト

N1…インターネット

N2…電話通信網

T…利用者端末装置

F…利用者FAX送受信機

H01…データ受信部

H02…データ送信部

30 H03…データ入力部

H04…表示部

H05…FAX受信部

H06…FAX送信部

H07…電話音声変換部

H08…FAXデータ変換部

H09…属性評価部

H10…属性収集部

H11…役に立たない評価処理部

H12…優先表示部

40 H13…ランク付け部

H14…属性一致時処理部

H15…通知処理部

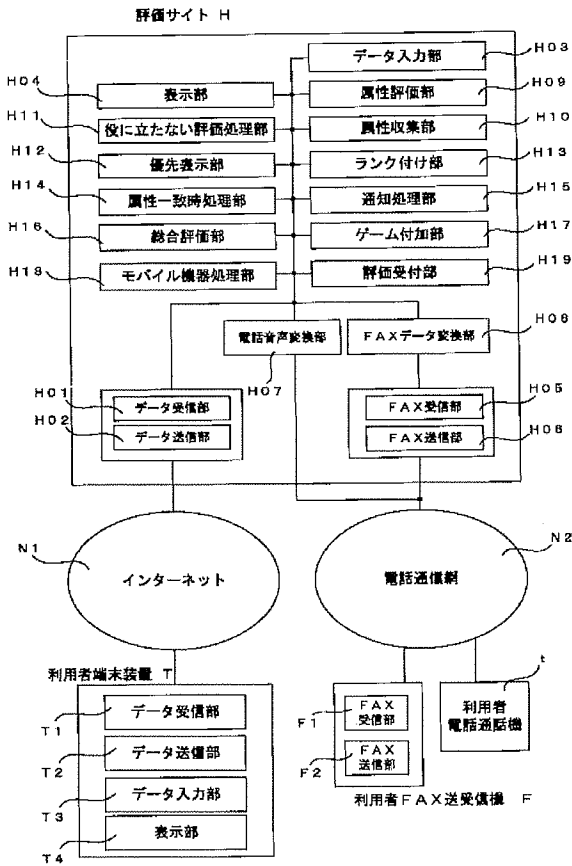
H16…総合評価部

H17…ゲーム付加部

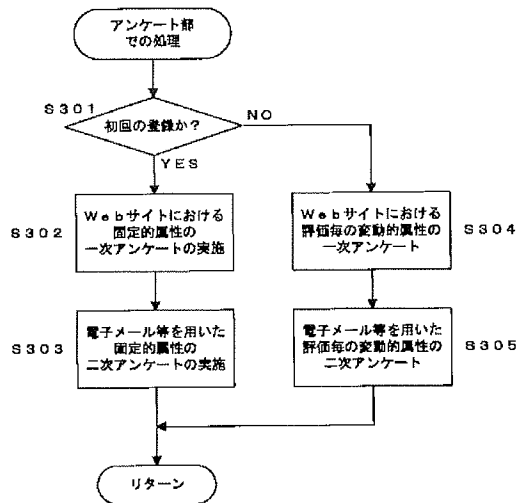
H18…モバイル機器処理部

H19…評価受付部

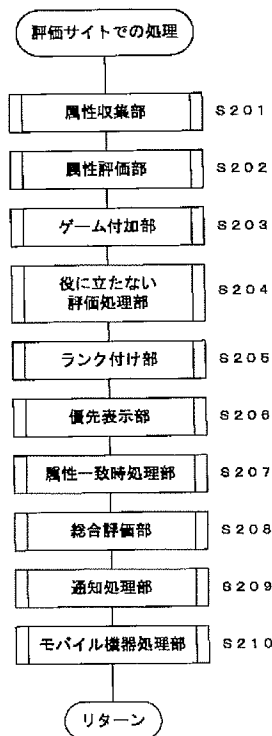
【図1】



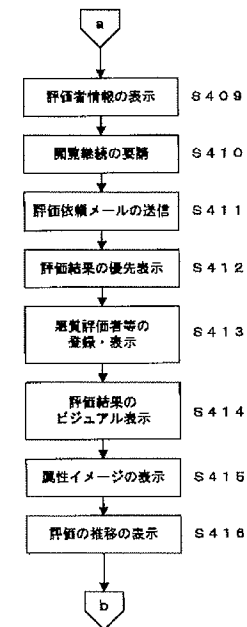
【図3】



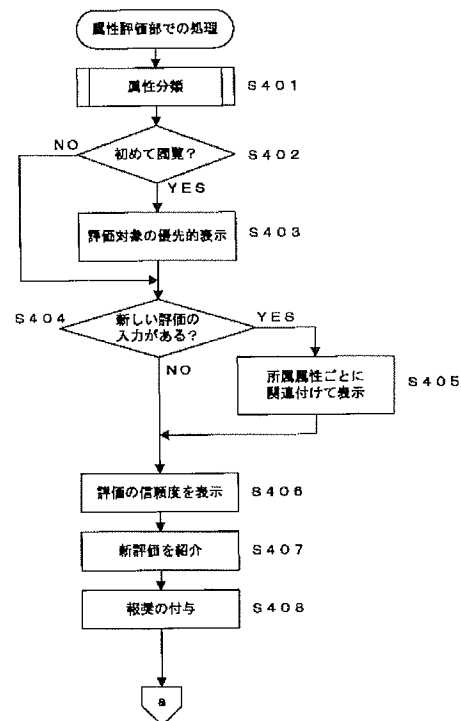
【図2】



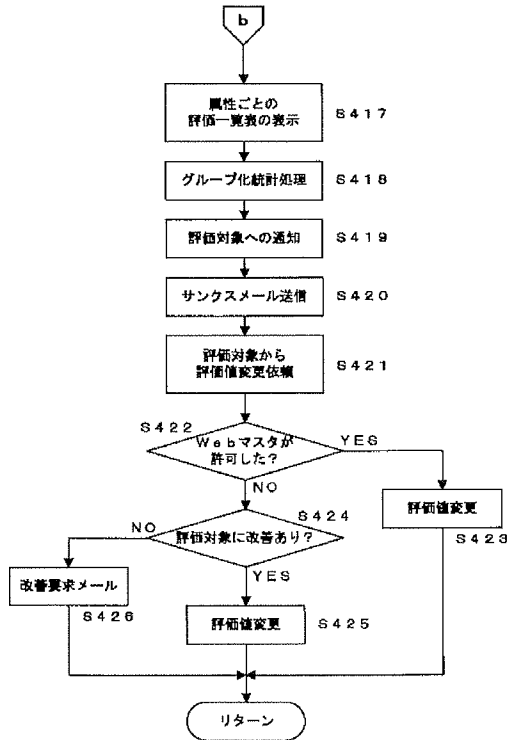
【図5】



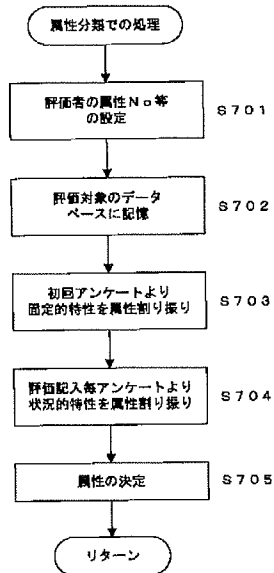
【図4】



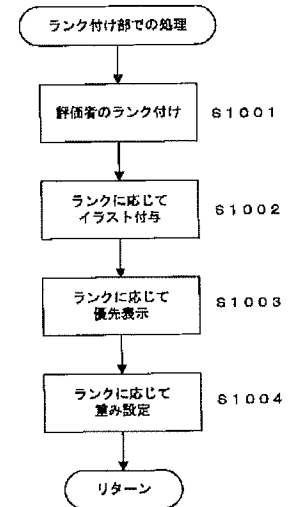
【図6】



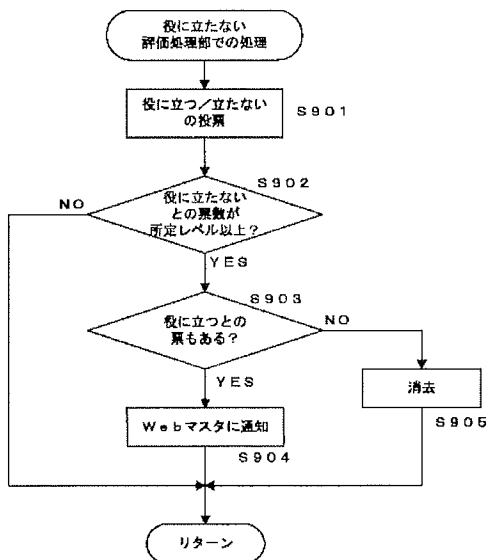
【図7】



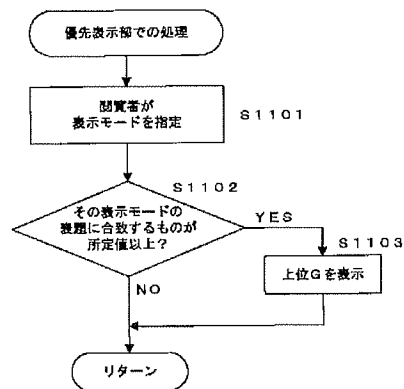
【図10】



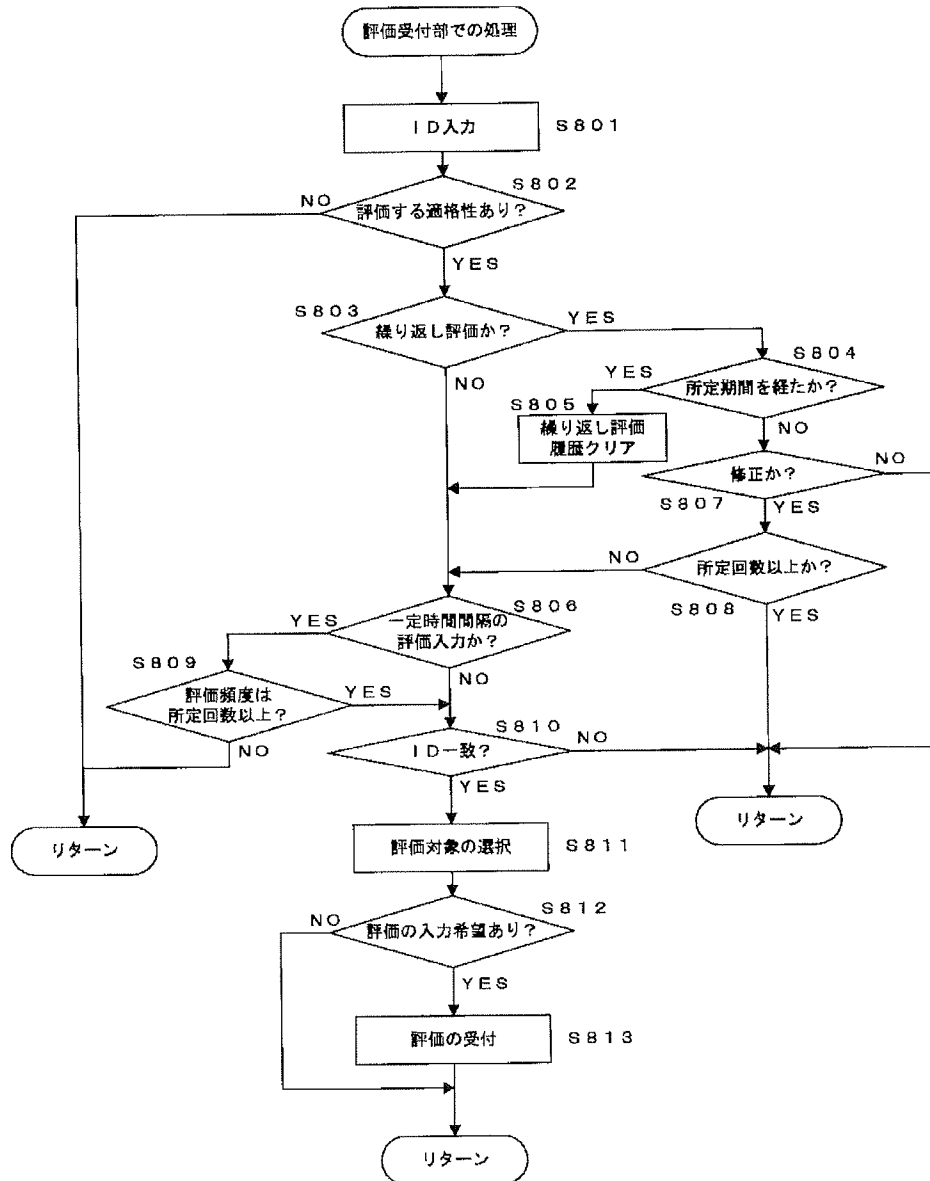
【図9】



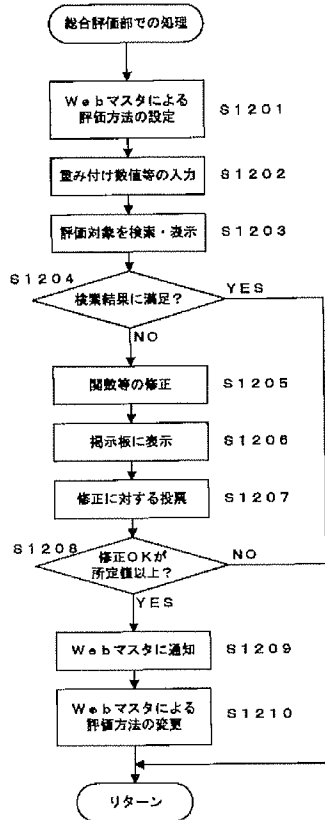
【図11】



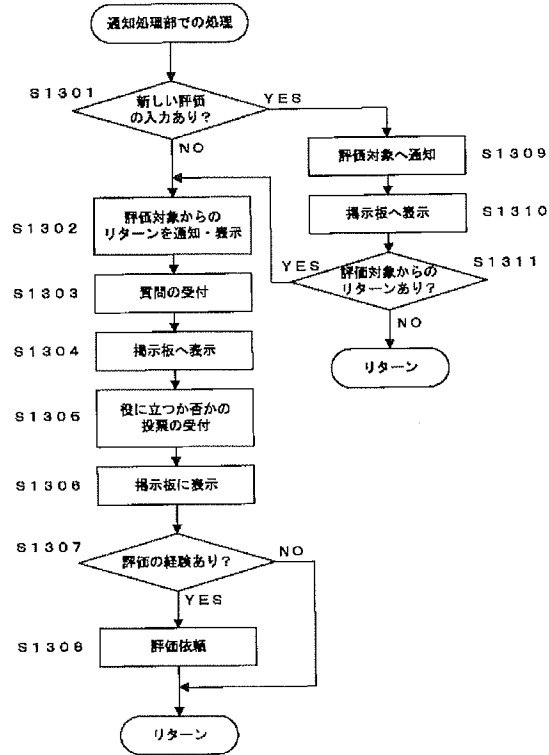
【図8】



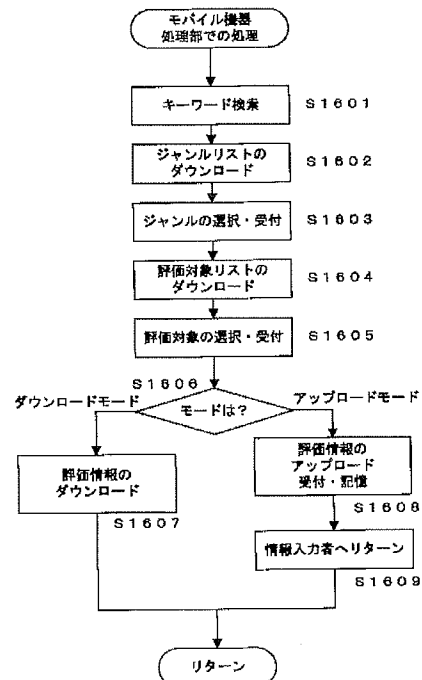
【図12】



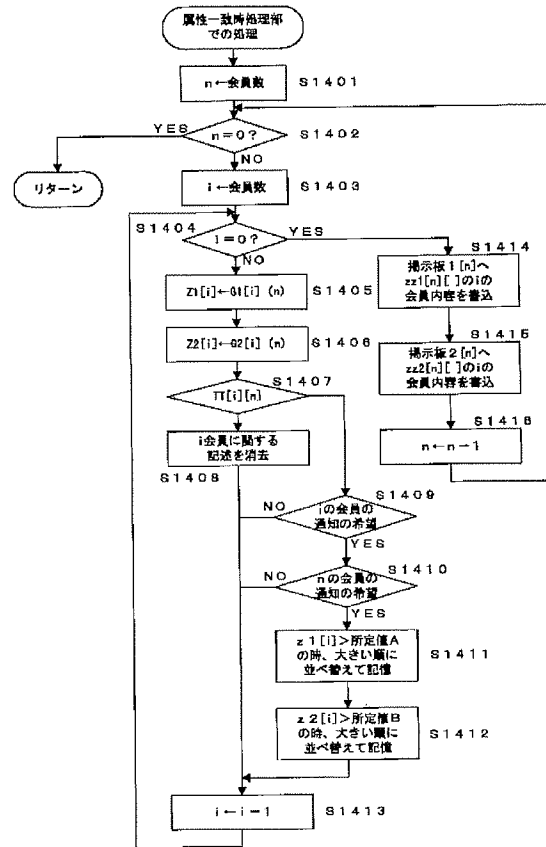
【図13】



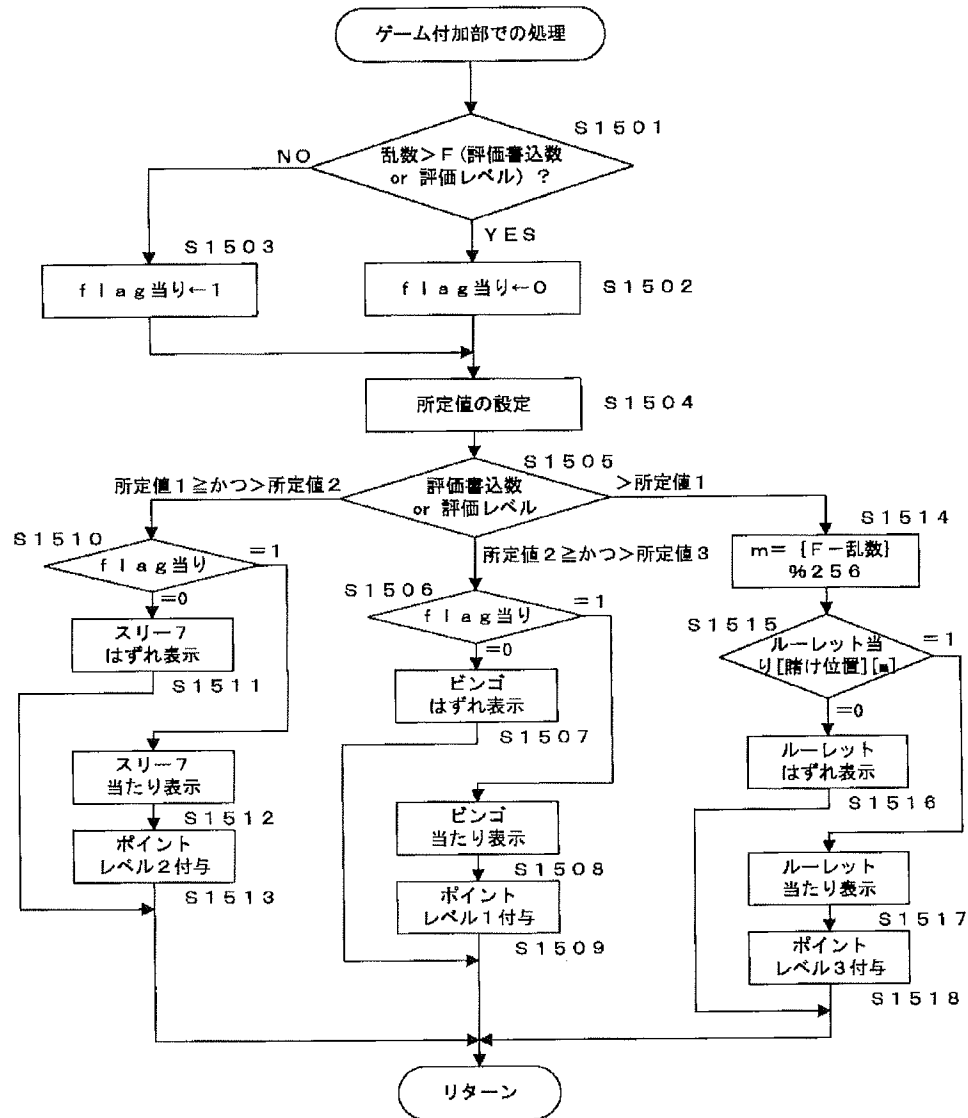
【図16】



【図14】



【図15】



フロントページの続き

(72)発明者 大野 みどり
東京都港区東麻布1-5-2 トウセン東
麻布ビル 株式会社イーシーウオッチドッ
トコム内

Fターム(参考) 5B049 AA02 CC00 CC01 CC02 DD01
EE02 FF03 GG02 GG04 GG07
GG09